目　　次

Ⅰ　はじめに …… 1

Ⅱ　管理部門

1　普及啓発・受診勧奨

1－1　普及啓発事業の目的 …… 2

1－2　がん征圧運動 …… 2

1－3　研修会、健康教育の実施 …… 4

1－4　普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し …… 7

1－5　北海道・市町村との連携 …… 9

1－6　企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携 …… 12

1－7　賛助会実績 …… 14

1－8　受診勧奨 …… 14

2　がん相談・患者会

2－1　がん相談事業実績 …… 15

2－2　小舟会（患者会）実績 …… 16

3　精度管理体制

3－1　精度管理体制 …… 17

3－2　専門職の研鑽 …… 17

3－3　施設認定 …… 22

4　事後処理の流れ …… 23

5　事後管理の流れ …… 24

6　安全管理体制 …… 25

7　検診車の保有状況 …… 26

8　助成金の受入状況 …… 27

9　委託事業 …… 28

Ⅲ　検診部門

1　平成26年度　検診受診者数 …… 31

2　平成25年度　一次検診の成績 …… 32

3　平成25年度　検診センターの精密検査成績 …… 60

4　発見がんの実測生存率 …… 69

【参考資料】

1　がん対策の背景 …… 74

2　北海道対がん協会

2－1　概要 …… 79

2－2　目的及び事業 …… 80

2－3　検診センター及び細胞診センターの機能 …… 81

2－4　機構図 …… 83

2－5　役員等名簿 …… 84

2－6　沿革概要 …… 86

3　個人情報保護方針 …… 89

4　検診センターにおける各種検診日 …… 90

5　がん対策基金のご案内 …… 91

6　がん征圧賛助会へのご入会案内 …… 93

【利用上の注意】

『2014がん対策の概況』は、公益財団法人北海道対がん協会の平成26年度の事業を集録したものです。
ただし、検診実績については、精検受診者数やがん発見数等の正確性を期すため、平成25年度の実績を掲載しています。
詳細は以下のとおりです。

Ⅱ　管理部門	…　平成26年度
Ⅲ　検診部門	
1　平成26年度検診実績	…　平成26年度
2　平成25年度検診実績	…　平成25年度
【参考資料】	
1　がん対策の背景	…　平成25年度
2～6	…　平成27年７月１日現在

Ⅰ はじめに

北海道対がん協会はわが国で最初の対がん協会で、昭和４年（1929）に創設され、爾来80年余り、がん征圧を目指して普及、啓発、予防、早期発見、治療、研究につとめて参りました。日頃より当協会のがん検診、健康診査に深いご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

日本におけるがん検診の受診率は、欧米等諸外国に比べ非常に低く、さらに北海道においては全国平均より下回っています。検診で見つかるがんの約９割は治せることから、当協会としましても、道民の健康を守るという使命を遂行するために、がん検診の受診率をあげるよう日々努力しています。また､同時に精度の高い検診を実施し、より早期に、より的確にがんを見つけられるよう努めることが重要な責務と考えています。

このたび、当協会の平成26年度の事業内容及び平成25年度の検診成績を集計、記録、解析した「2014がん対策の概況」を作成いたしました。平成26年度につきましては、検診車を２台増やし、全道各地へきめ細やかに巡回できる体制を整えました。

事業推進にあたり、ご協力頂きました北海道、道内各自治体、道内３医科大学、医師会、企業、団体の皆様に感謝申し上げます。またこのデータをご高覧いただき、地域住民の皆様の保健予防や健康増進に役立てていただくと共に、御意見いただければ幸甚でございます。

私達北海道対がん協会職員一同は、今後とも全力をあげて、検（健）診の改善、精度向上、受診率の向上、受診者の皆様の福祉の増進につとめ、道民のがん死亡を更に減少させる決意でおります。皆様の一層のご指導、ご支援を心よりお願い申し上げます。

平成27年７月

公益財団法人 北海道対がん協会

会長 長 瀬 清

Ⅱ　管理部門

1　普及啓発・受診勧奨

1－1　普及啓発事業の目的

公益財団法人北海道対がん協会では、広く道民にがんに関する正しい知識を普及し、併せてがん検診事業の推進を図ることを目的として、がん予防道民大会をはじめとした普及啓発事業に力をいれています。

また、最近では企業のCSR活動と連携し、新たな切り口で、がん早期発見のための検診の重要性を訴えています。

1－2　がん征圧運動

当会本部である公益財団法人日本対がん協会は、日本医師会と共催で、９月を「がん征圧月間」と定め、全国でがん征圧運動を展開しています。

北海道対がん協会では、北海道が９・10月に展開する「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」と連携し、行事を実施しています。

⑴　がん征圧月間行事

開催日	開催場所	事　業　名	内　　容	参加者数
９／１(月)～３(水)	北海道庁 １階道民ホール	がん予防普及パネル展	パネル・ポスター・パンフレットの配布、乳がん触知モデル体験など	408名
９／13(土)	イオン旭川ショッピングセンター	がん予防普及パネル展	がん予防普及パネル展、骨密度検査の実施	延200名
９／21(日)	釧路がん検診センター	日曜検診とがん予防普及パネル展	日曜検診（各種がん検診・特定健診）時にパネル展及び普及啓発ブースを展開	延630名
９／22(月)	朝日新聞	がん征圧月間特集	朝日新聞朝刊に２面に渡って特集記事を掲載	－
９月中	札幌市各区 区役所・保健センター、旭川市、釧路市ほか	がん征圧懸垂幕の掲示	がん早期発見の大切さを訴える懸垂幕・看板を、公的機関に掲示依頼	11機関
９月中	旭川市 買物公園	がん検診の音声広告	「こちらは旭川がん検診センターです。９月はがん征圧月間です。がん検診はお済みですか？「だいじょうぶ」思い込まないで、がん検診を受けましょう。９月はがん征圧月間です。」	１日10回 １回15秒

９月上旬	道内医療機関、市町村、関係機関	がん征圧月間ポスターの配布	日本対がん協会からがん征圧月間ポスターを購入し、北海道医師会と連携して道内の関係機関へ配布	4,600枚
10／７(火)	・大通 ・北24条駅前	街頭PR (街頭ティッシュ配り)	北海道健康をまもる地域団体連合会と連携し、街頭啓発を実施	約2,500名
10／24(金)	釧路市観光国際交流センター	第46回がん予防道民大会 ・がん予防功労者表彰 ・特別講演 ・健康講話	・特別講演「がんと人間と社会」 ・健康講話「ドクターらく朝の“笑って笑って、がん予防”」	約800名

■第46回がん予防道民大会

がん予防道民大会は、がんに関する正しい知識の普及を目的として、「がん征圧 ・ がん検診受診促進月間」の期間中に、北海道、北海道健康づくり財団及び開催地の市町村との共催により毎年開催しています。

第46回となる今大会は、「若年層からのがん予防に対する正しい知識とがん検診の重要性についての普及啓発を図る」を開催テーマとし、10月24日（金)、釧路市観光国際交流センターで次のとおり開催し、全道から約800名が参加しました。又、健康教育の一環として地元高校生の参加もあり、盛会裡に終了しました。

10月24日（金） 12：45～15：15 釧路市観光国際交流センター 約800名参加	【第46回がん予防道民大会】 大会の主な行事 ○がん予防功労者の表彰 受賞団体　洞爺湖町・白老町・斜里町・小平町・厚岸町・旭川食生活改善協議会 ○特別講演 「がんと人間と社会」 演者　公益財団法人日本対がん協会　会長　垣添　忠生氏 ○健康講話 「ドクターらく朝の“笑って笑って、がん予防”」 演者　落語家　立川　らく朝氏

⑵　リレーフォーライフジャパン2014 in 室蘭

８月30日（土）～31日（日）、「リレーフォーライフジャパン2014 in 室蘭」にチームTAIGANとして24名参加しました。

⑶　禁煙運動への参加

北海道たばこ対策連絡協議会に所属し、世界禁煙デーを中心とする諸行事に参加協力しています。

１－３　研修会、健康教育の実施

企業、学校、関係団体等からの依頼に応じて、随時講師を派遣し、健康教育を実施しています。

開催日	開催場所	参加者数	内　　容	従　事　者
４／５	札幌道新ホール	300名	がん予防市民フォーラム がんの予防はどこまで可能か 「ピロリ菌感染と胃がん検診」	（札幌） センター長　手林　明雄
４／15	第一生命 札幌総合支社	108名	職員研修 「子宮頸がんのお話」	（札幌） 経営企画課　植村　絵美
５／13	札幌センタービル	23名	明治安田生命職員研修 「子宮頸がんのお話」	（札幌） 経営企画課　熊林　弘美
６／13	札幌パークホテル	196名	㈱日進通工職員研修 「そうだったのか！知って納得。がん検診」	（札幌） 経営企画課　植村　絵美
７／19	北見赤十字病院	40名	第９回オホーツクマンモグラフィ研究会 「乳がん検診の方向性と精度管理」	（札幌） 放射線科　黒蕨　邦夫
８／６	KDDI株式会社 北海道総支社	16名	「メリットいっぱい　早期発見・早期治療」	（札幌） 経営企画課　熊林　弘美
８／８	済生会熊本病院 予防医療センター	40名	第29回熊本胃画像診断勉強会 「不確実所見の見方の考え方と捉え方」	（旭川） 所長　安保　智典
９／４	札幌市医師会館	80名	札幌市マンモグラフィ講習会 「乳がん検診の現状と品質管理について」	（札幌） 放射線科　黒蕨　邦夫
９／５	篠路まちづくり センター	50名	あなたに役立つがんのお話 「がん検診一般について」	（札幌） 医事課長補佐 小沼　真澄
10／２	北まちづくりセンター	30名	あなたに役立つがんのお話 「乳がん子宮がん等　女性のがん」	（札幌） 医事課長補佐 小沼　真澄
10／４	グランドホテル ニュー王子	50名	苫小牧技師会画像セミナー 「デジタルマンモグラフィの基礎」	（札幌） 放射線科　黒蕨　邦夫

10／7	新川まちづくり センター	15名	あなたに役立つがんのお話 「高齢者のがん　あれこれ」	（札幌） 会長　長瀬　清
10／8	釧路市 生涯学習センター	70名	釧路シニア大学　健康講話 「がん検診の必要性」	（釧路） 所長　松浦　邦彦
10／24	旭川藤女子高等学校	150名	がん予防講座 「乳がん検診について」	（旭川） 検診第２課 新関　おりえ
			がん予防講座 「子宮頸がん検診について」	（札幌） 細胞診センター所長 藤田　博正
10／31	旭川市シニア大学 講座室	60名	旭川市シニア大学　大学院講座 「乳がん検診について」	（旭川） 副所長　菅野　普子
			旭川市シニア大学　大学院講座 「がん検診のススメ」	（旭川） 検診第２課　松谷　和江
11／12	屯田まちづくり センター	50名	あなたに役立つがんのお話 「がん検診一般について」	（札幌） 会長　長瀬　清
11／13	幌北まちづくり センター	20名	あなたに役立つがんのお話 「がん検診一般について」	（札幌） 会長　長瀬　清
11／14	製鉄記念室蘭病院	50名	室蘭放射線技師会学術集会 「デジタルマンモグラフィの精度管理」	（札幌） 放射線科　黒蕨　邦夫
11／29	東北大学病院	50名	日本放射線技術学会マンモグラフィ研修会 「マンモグラフィの基礎」	（札幌） 放射線科　黒蕨　邦夫
12／1	渡島保健所	20名	「北海道におけるがん検診の実態と 課題について」	（札幌） 専務理事　白川　賢一
12／4	北海道天塩高等学校	50名	がんの教育総合支援事業 「生活習慣病―がんのことをもっと知ろう―」	（札幌） がん支援相談員 近藤　かおり
12／5	名寄市立総合病院	40名	平成26年度北部画像研究会 「マンモグラフィ検診の精度管理とこれから」	（札幌） 放射線科　黒蕨　邦夫
12／19	あいの里 コミュニティセンター	20名	あなたに役立つがんのお話 「がん検診一般・がんのお話・がんと病気」	（札幌） 会長　長瀬　清
12／20	札幌 コンベンション センター	40名	おもしろいしニュースポーツ& すこやかフェスタ 「ピロリ菌感染と胃がん検診」	（札幌） センター長　手林　明雄
1／21	東部住民センター	20名	旭川市がん予防教室 「がん検診のススメ」	（旭川） 検診第２課　松谷　和江
1／24	札幌 丘珠新栄団地会館	20名	ピロリ菌除菌と胃がんをテーマとした 地域住民セミナー 「ピロリ菌感染と胃がん検診」	（札幌） センター長　手林　明雄
1／30	北海道第２水産ビル	50名	北海道教育委員会 「がんの教育」研修会 「がんを経験して思うこと」	（札幌） がん支援相談員 内山　浩美

2／4	札幌市立大学 桑園キャンパス	92名	「がん看護学」における講義	（札幌） がん支援相談員 内山　浩美
2／7	札幌 春風台会館	20名	ピロリ菌除菌と胃がんをテーマとした 地域住民セミナー 「ピロリ菌感染と胃がん検診」	（札幌） センター長　手林　明雄
2／9	緑が丘住民センター	20名	旭川市がん予防学級 「胃がん検診Ｑ＆Ａ」	（旭川） 放射線科　西田　大
2／14	札幌 白石東会館	20名	ピロリ菌除菌と胃がんをテーマとした 地域住民セミナー 「ピロリ菌感染と胃がん検診」	（札幌） センター長　手林　明雄
2／17	札幌 鉄西会館	40名	福祉のまち研修会 「ピロリ菌感染と胃がん検診」	（札幌） センター長　手林　明雄
2／24	釧路町 保健福祉センター	20名	釧路町健康づくり教室 「がん検診について」	（釧路） 所長　松浦　邦彦
3／7	住友生命 旭川支社	100名	住友生命保険相互会社労働組合 旭川支部　がんセミナー 『子宮がん・乳がん』	（旭川） 検診第２課 馬場　留理子
3／9	季実の里団地 集会所	30名	あなたに役立つがんのお話 「がんのお話（前立腺・甲状腺）」	（札幌） 会長　長瀬　清
3／12	元町児童会館	20名	お母さんとこどもの健康のおはなし 「子宮頸がんとHPVとの関係について」	（札幌） 細胞診センター所長 藤田　博正
3／15	札幌 十五島町内会会館	40名	ピロリ菌除菌と胃がんをテーマとした 地域住民セミナー 「ピロリ菌感染と胃がん検診」	（札幌） センター長　手林　明雄
3／15	札幌市 社会福祉総合センター	100名	第10回胃がん検診専門技術研修会 「不確実所見を中心に」	（旭川） 所長　安保　智典
3／21	札幌医科大学 附属病院	80名	北海道マンモグラフィ読影講習会 「マンモグラフィの基礎と被曝リスク」	（札幌） 放射線科　黒蕨　邦夫
3／24	歌志内市公民館	30名	健康づくり推進委員研修会 「がん検診の大切さ」	（札幌） 検診第２課参事 遠藤　留美子

１－４　普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し

⑴　普及啓発資料の作成・購入

	資　料　名	部　数
①	がん対策の概況2013	800冊
②	機関紙「しらかば」	2,600部
③	がんに負けない社会をつくる（日本対がん協会作成リーフレット）	3,300枚
④	乳がんのセルフチェック（日本対がん協会作成リーフレット）	1,300枚
⑤	協会案内（３センター共通リーフレット）	3,000部
⑥	がん征圧月間ポスター（日本対がん協会作成ポスター）	4,600枚

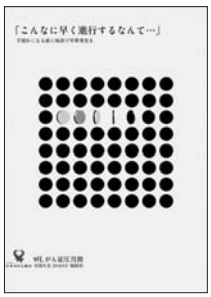
①

②

③

④

⑤

⑥


⑵　教育機材の貸し出し

乳がんのしこりを体験できる「乳がん触知モデル」や、がん予防普及パネルを無償で貸出しております。平成26年度はピンクリボン活動団体や各市町村に貸出し、イベント時に活用していただきました。

⑶　普及啓発ポケットティッシュの作成・配布

札幌センターにおいて、検診受診を呼びかける普及啓発ポケットティッシュを作成し、街頭にて配布しました。

（配布状況）

日　付	場　　所	部　　数
5／7	地下鉄　栄町駅付近	300部
5／8	地下鉄　新道東駅付近	450部
5／9	地下鉄　元町駅付近	450部
5／22	地下鉄　麻生駅付近	200部
5／23	地下鉄　北34条駅付近	200部
6／27	地下鉄　真駒内駅付近	200部
7／4	地下鉄　環状通東駅付近	200部
7／25	地下鉄　北18条駅付近	200部
9／11	地下鉄　北24条駅付近（がん征圧月間）	1,200部
9／11	地下鉄　大通駅付近（がん征圧月間）	1,560部

１－５　北海道・市町村との連携

⑴　がん対策推進会議の実施

次年度の事業計画を円滑に推進するため、北海道と共催で、保健所・市町村・事業所関係者を対象に、次のとおり開催しました。

10月10日（金） 13：00～16：30 ホテルポールスター札幌	【がん対策推進会議】 ○　報告事項 １　北海道からの報告 ・がん診療機能評価事業について ・がん登録について ・がん後遺症対策事業について ・ピロリ菌対策について ２　北海道対がん協会からの報告 ・第46回がん予防道民大会について ・平成27年度検診事業について ・マンモグラフィ単独検診について ○　講演 「がんを知り、がんに負けない」 北海道がんセンター　院長　近藤　啓史氏

⑵　各がん検診センター所在市町村とのがん検診打合せ会議

がん検診を円滑かつ効率的に実施するため、各センターが所在する札幌市、旭川市、釧路市と打ち合わせ会議を開催し、協議しました。

⑶　健康に関するイベントへの出席

自治体が実施する健康に関するイベントへ出席し、がんに関する普及啓発を実施しました。

開催日	大　会　名	開催地	参加人数	内　容
6／21	旭川市健康まつり	旭川市	1,500名	骨検診、パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
6／29	いわみざわ健康まつり	岩見沢市	1,200名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
7／13	西区第12回健康フェア	発寒小学校	300名	骨検診、パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
9／7	元気フェスティバルin きたひろしま2014	北広島市	3,500名	パネル展、がん予防クイズ、乳がん触知モデル体験、パンフ配布、塗り絵コーナー
9／13	手稲区健康フェア	手稲区民センター	96名	胃がん検診23名、大腸がん検診32名、パネル展96名、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
9／17	清田区健康＆介護予防フェア	清田区役所	620名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
9／18	あつべつ健康・福祉フェスタ （プレフェスタ）	サンピアザ光の広場	200名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布

9／27	あつべつ健康・福祉フェスタ	厚別区民センター	244名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
9／28	恵庭市健康まつり	恵庭市総合体育館	30名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布、健康セミナー（藤田Dr.）
10／4	けんこうフェスタ2014in ちゅうおう	中央区民センター	53名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
10／18	ピンクリボンイベント	イオンタウン江別	200名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布、大腸がん検便キット配布
10／19	釧路健康祭り	釧路市	160名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
10／23	みんなでみに区る健康まつり	南区民センター	90名	骨検診、パネル展、乳がん触知モデル体験、がん予防クイズ、パンフ配布
12／20	おもしろいし！ニュースポーツ&すこやかフェスタ	札幌コンベンションセンター	82名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布、検診予防DVD上映

⑷　成人の日式典における普及啓発（札幌市北区）

平成27年１月12日（月）、ニトリ文化ホールにて、新成人に20歳からの検診を呼びかけるため、子宮頸がんに関する手作りの資料「子宮頸がん予防開発プロジェクトHello Smile」50部、「新成人の皆様へ」50部、「Hello smileあなたの相談窓口カード」と「Hello kittyばんそうこう」を100セット配置し、大好評に終わりました。

⑸ がん予防学級の開催

昭和46年より、がんに関する正しい知識の普及を目的として、開催地の市町村と共催でがん予防学級を開催しています。

８月20日（水） 46名参加	【札幌がん検診センター】札幌市と共催 ①「早期発見、早期治療」　北海道対がん協会経営企画課　熊林　弘美 ②「がんと医療費」　北海道がんセンター専門相談員　木川　幸一 ③「肺がんについて」　KKR札幌医療センター腫瘍センター長　磯部　宏
９月９日（火） 111名参加	【旭川がん予防学級】※ ①「子宮がんと子宮がん検診」　旭川がん検診センター 婦人科部長　笠茂　光範 ②「肺がんから逃れるために大切なこと」　旭川医科大学呼吸器センター 教授　大崎　能伸
11月14日（火） 38名参加	【帯広がん予防学級】帯広市と共催 ①「子宮がんについて」　細胞診センター所長　藤田　博正 ②「乳がんについて」　帯広協会病院院長　安部　厚憲

※旭川がん予防学級については、このほかに「旭川市がん予防教室」を開催しているため、共催とはしていません。
※釧路がん予防学級はがん予防道民大会開催地が釧路市のため休講しました。

⑹ 北海道がん対策基金

平成27年２月９日、「がんに負けない社会」の実現を目的として、北海道が中心となり、道内企業の協力のもと、北海道がん対策基金を設立しました。当会は事務局として基金の管理・運営を担うこととなりました。

基金に関する詳細は91・92ページを参照してください。

１－６　企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携

⑴　企業との連携

主にピンクリボン活動を通じて、企業のCSR活動と連携し、一般市民向けの普及啓発イベントを実施しました。また、企業職員向けに健康教育を実施し、がんに対する意識の向上を図りました。

【北海道コカ・コーラボトリング株式会社　ピンクリボン活動支援プログラム『リボンの願い』】

平成22年５月に北海道コカ･コーラボトリング㈱と締結した「ピンクリボン活動推進協定」に基づき、ピンクリボン活動支援自動販売機の設置を推進しており、平成26年12月末には約130台となりました。平成25年度からは､寄付金の一部を北海道内でピンクリボン活動を行う団体へ助成する「リボンの願い」という事業を開始し、平成26年度は３団体へ42万円を助成しました。

（平成26年度採択団体）

・ピンクリボンin SAPPORO…女子大生を対象とした「ピンクリボン出前講座」を札幌市内の大学で実施。医療従事者による講義とミュージカル仕立てのミニ劇場を行い、学生本人だけでなく家族や知人に伝わることを目指す。

・パフォーマンスプロダクションCOLORE…フリーペーパー「Vita―命のリボン―」の発行を通じて、若い世代へのピンクリボン活動の周知や乳がん検診の大切さを訴える。

・特定非営利活動法人耳をすませば…「日本赤十字北海道看護大学」と協働で20～40代の母親を対象に、乳がん触知モデル体験や運動教室を通して乳がんに関する啓発活動を行う。

○他､ピンクリボン自動販売機設置協力企業（自販機を通してがん征圧のための寄附金を頂いています。）

・サントリービバレッジサービス株式会社
・株式会社アペックス
・株式会社エスシー・アペックス

【企業職員向けの健康教育】

・第一生命札幌総合支社　…延108名
・明治安田生命　…延23名
・住友生命保険相互会社労働組合旭川支部　…延100名
・株式会社日進通工　…延196名
・KDDI　…延16名

⑵　地区組織との連携

【第47回北海道家族の健康をまもる講習会】

北海道健康をまもる地域団体連合会、北海道食改善推進員協議会、公益財団法人北海道結核予防会と共催で、北海道の後援のもと、平成26年7月４日～５日の２日間、美瑛町国立大雪青少年の家において、全道から参加した78名の受講者に対し、がんや結核・栄養等に関する講習会を実施しました。

【街頭啓発】

北海道健康をまもる地域団体連合会、札幌市北区健康をまもるつどいと連携し、各団体のイベント時に当会の普及啓発ティッシュを配布していただきました。延3,840部を配布しました。

・５／10　第14回新川さくらフェスティバル音楽祭
・10／７　2014年がん征圧月間
・10／24　第46回がん予防道民大会
・11／４　北区女性文化講演会
・12／13　北区健康づくり協議会10周年記念講演会

⑶ 患者・ボランティア団体との連携

ピンクリボン活動や子宮頸がんに関する普及啓発に取り組んでいる市民団体を支援し、団体の協力のもと、がんに関する正しい知識の啓発を行いました。

【子宮頸がんに関する普及啓発プロジェクト】

札幌市保健所、市内大学、リボンムーブメント北海道（大学生の子宮頸がん啓発活動グループ）、MSD㈱からなる標記プロジェクトに実行委員として参加。メンバーが、がんに関する正しい知識を学習する際に講師を派遣したほか、啓発媒体作成にあたり指導協力を行いました。

・６／23　第１回実行委員会
・７／８　第１回ワークショップ（講義）
・３／10　第２回実行委員会

【一般社団法人 Stand for mothers】

・６／30　ママ友検診の実施（検診、ワークショップ、スイーツ会）ママ８名、子ども５名参加

【ピンクリボン in SAPPORO】

・５／25　北海道を歩こう×ピンクリボン（名義後援）
・９／７　ピンクリボンロード（乳がん触知モデル貸出）
・２／11　ワーキング・サバイバーズ・フォーラム2015～がんと仕事～（名義後援）

１－７　賛助会実績

がん征圧運動を広げるため、賛助会制度を設けております。個人会員（年１口1,000円）、法人会員（年１口10,000円）で、口数に制限はありません。会員の皆様から頂く賛助会費は、主にがんの正しい知識の普及用教材としてパンフレット・リーフレット等を作成し、道民の皆様にがん予防の資料としてお配りするほか、がんの研究にも一部援助させて頂いております。賛助会に関する詳細は93ページを参照してください。

平成26年度の会員数は個人会員369人、法人会員102件でした。

H26	札　幌	旭　川	釧　路	計
個人	278	64	27	369
法人	57	28	20	102

１－８　受診勧奨

⑴　北海道健康づくり実行委員会への参加

主催団体として参加し、マスメディアを通じて、広く道民に啓発活動を実施しました。

平成26年９月10日（水）北海道新聞夕刊（全道版）に記事を掲載しました。

⑵　計画検診の勧奨

市町村の検診において、節目の年齢の方（胃がん検診では60歳・子宮がん検診は30歳・乳がん検診は40歳）への受診の動機付けとして、官製はがきによる受診勧奨（計画検診）を行うお手伝いをしております。平成26年度は、胃がん…27市町村、子宮がん…28市町村、乳がん…23市町村において、計画検診が行われました。

⑶　未受診者への受診勧奨

新聞折り込みチラシ・未受診者勧奨はがき等を活用し、検診対象年齢でありながら一度も受診していない方への働きかけや、１年未受診者・２年未受診者への働きかけを積極的に勧めるため、チラシを約590,685枚作成し、市町村へ提供しました。

⑷　事業所などへの検診勧奨

検診が未実施の小規模事業所に対し積極的に働きかけを行い、がん検診の定着化を勧めました。

⑸　日曜検診の実施

平日受けられない人などを対象に、３センターでがん検診と各種検診（健診）を17日間実施し、延べ2,864人が受診しました。

2　がん相談・患者会

2－1　がん相談事業実績

がん電話相談は、昭和59年11月に開設し、専任の相談員（保健師）が、これまでの30年間で延べ9,357件の電話相談に対応しています。平成26年度の相談内容は以下のとおりです。

近年は、メールによる問い合わせも増えてきており、随時対応しています。

①相談者数　：　92件

②相談者の住所　：　（単位：件）

札幌市内	75
札幌市外	16
北海道外	0
不　明	1

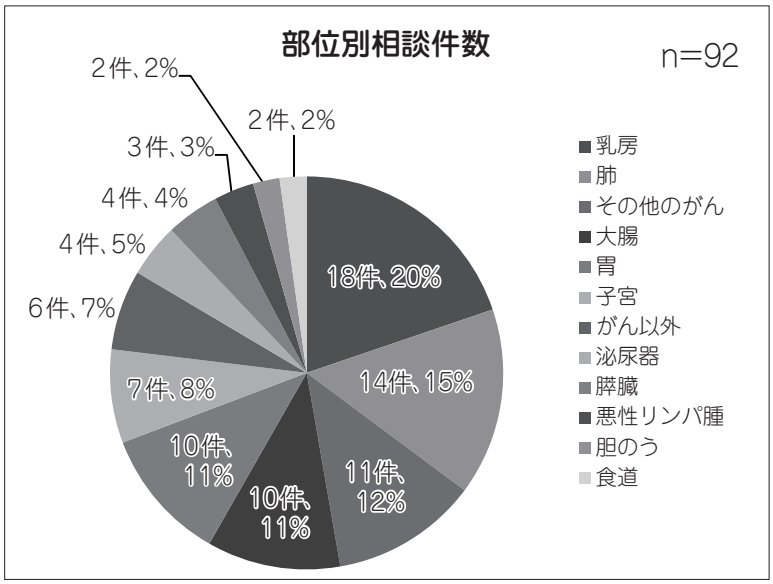
③相談者の属性　：　（単位：件）

本　人	62
家　族	30
その他	0

④相談者の年齢・性別　：　（単位：件）

年代	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不　明	総　計
男性	0	0	0	3	12	7	3	25
女性	0	2	12	19	16	13	5	67
総計	0	2	12	22	28	20	8	92

⑥相談者のがん部位　：



⑦相談内容　：　　（単位：件）

病気・治療内容に関すること	43
専門病院に関すること	18
自覚症状あり不安に関すること	7
医療への不満・不安に関すること	7
その他	3
心理的課題に関すること	4
告知に関すること	0
日常生活に関すること	5
漢方・民間療法に関すること	1
経済的不安に関すること	4

２－２　小舟会（患者会）実績

昭和42年６月に開設した、がん治療経験者や治療中の方を会員とするがん克服者の会の事務局を担い、長年にわたり、がんに関する正しい知識の伝達や、参加者相互の理解を促す働きかけも行っています。

なお、平成26年度は全国組織の北海道支部に属しながら次の活動を行っています。

①「がんを語り合う会」　…　７回開催、 延38名参加
②第48回総会・懇親会の開催　…　平成26年７月18日（金）全日空ホテル　14名出席
③役員会の開催　…　平成26年４月16日（水）　８名出席
　平成26年12月３日（水）　６名参加
④第32回全国総会へ参加　…　平成26年６月19日（木）・20日（金）
　宮城県松島町「海扇閣」　４名参加
⑤第46回がん予防道民大会へ参加　…　平成26年10月24日（金）
　釧路市観光国際交流センター　４名参加

3　精度管理体制

3－1　精度管理体制

国が推奨する「がん検診事業評価のためのチェックリスト」にそった精度の高いがん検診を実施するため、がんごとに実施マニュアルを定め、遵守しています。

3－2　専門職の研鑽

⑴　資格保有状況（常勤職員）

■医師

資　格　名　称	人　数
日本消化器がん検診学会指導医	4
日本消化器がん検診学会認定医	4
日本消化器内視鏡学会専門医	4
日本消化器内視鏡学会指導医	1
日本消化器病学会専門医	2
日本医師会認定産業医	4
日本医師会認定健康スポーツ医	2
日本ヘリコバクター学会認定医	1
日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ読影認定医	3
日本臨床細胞学会細胞診専門医	3
国際臨床細胞学会フェロー	1

■放射線技師、臨床検査技師、保健師、看護師

資　格　名　称	人　数
胃がん検診専門技師	31
胃がん検診基準撮影法指導講師	1
胃がん検診基準撮影法指導員	5
マンモグラフィ撮影技術認定技師	29
乳房超音波講習会履修者	15
超音波検査士（消化器）	6
超音波検査士（体表臓器）	3
肺がんCT検診認定技師	7

放射線管理士	2
放射線機器管理士	1
細胞検査士	19
国際細胞検査士	17
健康運動指導士	4
健康食品管理士	1
人間ドック検診情報管理指導士	4
医療情報技師	3
医用画像情報専門技師	1
消化器内視鏡技師	5

⑵ 学会・研修会活動

■学会等所属状況

学会・委員会名	活動内容
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構	委員を擁し、精度確立のため活動しています
NPO法人日本消化器がん検診精度管理評価機構	理事を擁し、精度確立のため活動しています
北海道臨床細胞学会	事務局及び理事を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
北海道細胞検査士会	事務局及び理事を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化器がん検診学会北海道支部 放射線研修委員会	事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本放射線技術学会北海道支部	副支部長及び理事を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。

■学会発表（平成26年度）

日　時	会　　名	演　　題	報　告　者		開催地
			所　属	氏　名	
6／5 ～7	第55回日本臨床細胞学会総会	（シンポジウム） 子宮がん検診の将来像	札幌 細胞診センター所長	藤田　博正	横浜市
		（地域推薦演題） 子宮頸がん検診におけるHPV型検査について	札幌 臨床検査部	安孫子　光春	
		子宮内膜漿液性腺癌初期病変の細胞像		田上　稔	
6／7 ～8	第31回日本産婦人科感染症研究会 学術集会	HPV16型variantと子宮頸がん発症リスクとの関連	札幌 細胞診センター所長	藤田　博正	神戸市

7／17 ～19	日本婦人科腫瘍学会雑誌	HPV16型variantと子宮頸がん発症リスクとの関連	札幌 細胞診センター	藤田　博正 佐々木　隆之	宇都宮市
7／19	第44回日本消化器がん検診学会 北海道地方会	平成24年度対策型胃がん検診成績	旭川 所長	安保　智典	札幌市
		旭川がん検診センター2012年胃がんX線検診発見症例の解析からみた発見向上策 ～特に他部位チェックと横胃の観点から～	旭川 内科医師	花井　文恵	
		「発見胃がん症例における胃がん検診画像の画質とカテゴリーの関係」	旭川 放射線科	春木　秀敏	
		釧路市の節目検診におけるはがきによる個別勧奨の効果について	釧路 検診課	住吉　香織 浅井　寛子	
10／24	JDDW2014 第56回消化器病学会大会	右側結腸がんは増えているか ―大腸がん検診からみて―	札幌 センター長	手林　明雄	神戸市
11／29	日本放射線技術学会マンモグラフィ研修会	マンモグラフィの基礎	札幌 放射線技術部	黒蕨　邦夫	札幌市
12／2	北海道公衆衛生学会	「マンモグラフィを併用した乳がん検診の８年間の成績」	札幌 放射線技術部	黒蕨　邦夫	札幌市
3／14	第40回放射線研修委員会研修会	胃がん検診の現在・過去・未来	札幌 センター長	手林　明雄	札幌市
		背景粘膜診断における粘膜襞分布と形状の検討	札幌 放射線技術部	大谷　和泉	

■研修会参加（平成26年度）

日　時	研　修　会　名	主　　催	参　加　者		開催地
			所　属	氏　名	
4／10 ～13	第70回日本放射線技術学会 総会学術大会	日本放射線技術学会	札幌 放射線技術部	黒蕨　邦夫 寺田　武司	横浜市
4／17 ～20	日本産婦人科学会第66回学術講演会	日本産婦人科学会	札幌 細胞診センター 所長	藤田　博正	東京都
5／9 ～11	第87回日本超音波医学会　学術集会	日本超音波医学会	札幌 臨床検査部	高橋　奈穂美	横浜市
			旭川 検査科	小西　加奈子	
5／23 ～25	第29回デジタルマンモグラフィ技術講習会	NPO法人マンモグラフィ精度管理　中央委員会	旭川 放射線科	山本　智美	名古屋市

6／5 ～7	第55回日本臨床細胞学会・総会	日本臨床細胞学会	札幌 細胞診センター 所長	藤田　博正	横浜市
			札幌 臨床検査部	田上　稔	
				安孫子　光春	
			旭川 検査科	石山　好人	
6／6 ～7	第53回日本消化器検診学会　総会	日本消化器がん検診学会	札幌 放射線技術部	北本　哲也	福井市
				鈴木　康雄	
			釧路 所長	松浦　邦彦	
6／21	札幌ニューテクノロジー研究会	NPO法人　日本消化器がん検診精度管理機構	旭川 放射線科	春木　秀敏	札幌市
				長谷川　達也	
7／19	第44回日本消化器がん検診学会　北海道地方会	日本消化器がん検診学会	釧路 所長	松浦　邦彦	札幌市
			釧路 検診課	住吉　香織	
				浅井　寛子	
7／26	第15回臨床消化器病研究会	臨床消化器病研究会	札幌 所長	山口　由美子	東京都
7／26	第96回マンモグラフィ技術更新講習会	NPO法人マンモグラフィ精度管理　中央委員会	旭川 放射線科	山本　智美	札幌市
			釧路 放射線科	丹野　律子	
8／30 ～31	第67回細胞検査士教育セミナー	日本臨床細胞学会	札幌 臨床検査部	和田　恒之	東京都
				鈴木　美由紀	
			旭川 検査科	石川　文秋	
				佐藤　利男	
			釧路 検査科	和泉　東子	
				三浦　務	
9／4 ～5	第55回日本人間ドック学会学術大会	日本人間ドック学会	旭川 医師参与	大塚　忍	福岡市
9／6 ～7	第68回細胞検査士教育セミナー	日本臨床細胞学会	札幌 臨床検査部	日野　順子	大阪府
9／14 ～15	第1回札幌放射線技師会マンモグラフィ技術講習会	札幌放射線技師会	旭川 放射線科	田中　伸一	札幌市
10／9 ～11	第42回日本放射線技術学会秋季学術大会	日本放射線技術学会	旭川 放射線科	春木　秀敏	札幌市
10／23 ～26	第52回日本消化器がん検診学会大会	日本消化器がん検診学会	旭川 所長	安保　智典	神戸市
10／24	第22回日本消化器関連学会	日本消化器関連学会機構	札幌 所長	山口　由美子	神戸市
11／6 ～7	第24回日本乳癌検診学会学術総会	日本乳癌検診学会	旭川 副所長	菅野　普子	前橋市

11／8 ～9	第53回日本臨床細胞学会秋期大会	日本臨床細胞学会	札幌 細胞診センター 所長	藤田　博正	下関市
			札幌 臨床検査部	阿部　里絵	
				泉　　恵	
			旭川 婦人科部長	笠茂　光範	
			旭川 検査科	中山　仁	
11／30	第35回北海道臨床細胞学会並びに学術集会	北海道臨床細胞学会	旭川 検査科	石川　文秋	札幌市
				佐藤　利男	
1／21	第37回消化管造影技術研究会	消化管造影技術研究会	札幌 放射線技術部	北本　哲也	東京都
				荒井　雅明	
1／31	札幌ニューテクノロジー研究会	NPO法人　日本消化器がん検診精度管理機構	旭川 放射線科	春木　秀敏	札幌市
				小松　靖子	
				長谷川　達也	
2／7 ～8	第33回人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会	日本人間ドック学会	旭川 検診第２課	松谷　和江	東京都
2／7 ～8	第５回乳房超音波技術講習会	公益財団法人日本対がん協会 公益財団法人日本結核予防会	札幌 放射線科	宮崎　杏	東京都
2／26 ～27	第38回　保健師・看護師研修会	公益財団法人日本対がん協会	札幌 検診第２課	木村　亜矢	東京都
				横内　紫乃	
			釧路 検診課	中畑　あゆみ	
2／28	肺がんCT検診認定試験	日本CT検診学会	旭川 放射線科	樋口　洋平	東京都
3／8	第27回細胞診従事者講習会	北海道臨床細胞学会	札幌 細胞診センター	藤田　博正	札幌市
				佐々木　隆之	
			札幌 臨床検査部	田上　稔	
				加藤　修	
				日野　順子	
				阿部　里絵	
				泉　　恵	
				市川　浩巳	
				鈴木　美由紀	
				茂木　由紀	
			旭川 検査科	石川　文秋	
				佐藤　利男	
				小西　加奈子	

3／12	遺伝子実験セミナー	ライフテクノロジーズジャパン株式会社	札幌 臨床検査部	和田　恒之	東京都
3／14	平成26年度生活習慣病検診従事者指導講習会	北海道日本消化器がん検診学会 北海道支部放射線研修員会	旭川 所長	安保　智典	札幌市
			釧路 所長	松浦　邦彦	
3／14	第40回放射線研修委員会研修会	日本消化器がん検診学会	旭川 放射線科	田中　伸一	札幌市
				西田　大	
				樋口　洋平	
				山本　智美	
				小松　靖子	
				長谷川　達也	
3／14	がん検診受診向上指導事業 全国がん検診指導員講習会	国立がん研究センター がん対策情報センター	札幌 検診第２課	能田　真結	東京都
3／15	第10回北海道胃がん検診専門技師技術研修会	日本消化器がん検診学会	旭川 放射線科	田中　伸一	札幌市
				西田　大	
				樋口　洋平	
				山本　智美	
				小松　靖子	
				長谷川　達也	

※道内で開催された学会への参加については、参加者多数のため一部割愛している。

３－３　施設認定

■日本消化器がん検診学会認定指導施設

■日本臨床細胞学会教育研修施設認定

■日本臨床細胞学会施設認定

■厚生労働省指定臨床研修協力施設

■日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ撮影施設認定

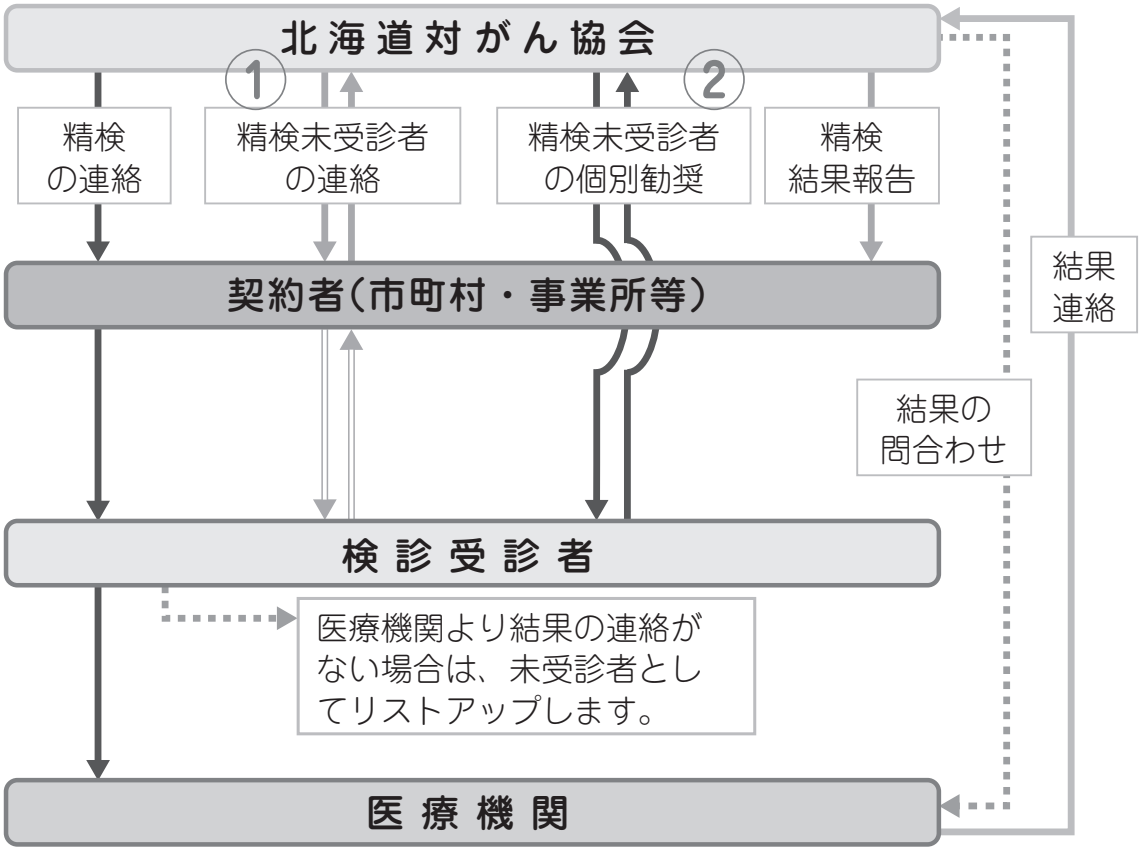
4　事後処理の流れ

厚生労働省「有効性評価に基づくがん検診ガイドライン」に準拠し、事後処理を行っています。

胃がん検診	日本消化器がん検診学会認定医による二重読影を行います。 また、過去に当協会で受診されている方は、必要に応じてその結果を参考に比較読影を行います。
子宮頸がん検診	日本臨床細胞学会の認定を受けた十分な経験を有する細胞検査士及び細胞診専門医が判定を行います。 当協会では、細胞診結果の分類はBethesda　systemによる分類を用います。過去に当協会で受診されている方は、必要に応じてその結果を参考にします。
子宮体がん検査	日本臨床細胞学会の認定を受けた十分な経験を有する細胞検査士及び細胞診専門医によりパパニコロウ染色を行い、顕微鏡下で観察します。 細胞診結果は、「陰性」・「疑陽性」及び「陽性」に区分します。
乳がん検診	「検診マンモグラフィ読影認定医」A評価の医師を加え、二重読影を行います。 また、過去に当協会で受診されている方は、必要に応じてその結果を参考に読影を行います。
肺がん検診	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター呼吸器内科と連携し、日本がん検診・診断学会がん検診認定医による二重読影を行います。 また、判定結果により比較読影を行います。 さらに、過去に当協会で受診されている方はその結果を参考にします。
喀痰細胞診	判定は日本臨床細胞学会認定の細胞検査士が実施し、異常が疑われる場合には標本を追加作成して、日本臨床細胞学会認定の細胞診専門医による再鏡検を実施します。 同一検体から作成された２枚以上のスライドは、２名以上の技師によりスクリーニングします。 喀痰細胞診の結果の判定は、「肺癌集団検診の手びき」（日本肺癌学会集団検診委員会編）の「集団検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分」によって行います。
大腸がん検診	便潜血検査は、免疫便潜血検査２日法により行います。
基本健康診査	健診当日の診察結果・血液データ・心電図・眼底結果を基に医師が総合的に判定し、「標準的な健診・保健指導プログラム（改訂版）」に基づき、保健指導対象者の選定と階層化を行います。

5　事後管理の流れ

受診者への結果通知で終了とせず、精検未受診者に対して、検診に関する専門的な知識をもった保健師が契約者と連携し、受診後数回にわたってフォローアップをすることで、精検受診につなげ、疾病の早期発見に努めています。



①未受診者調査	検診受診後２カ月が経過しても医療機関より結果の連絡がない場合は、精検未受診者としてリストアップし、契約者へ送付して、契約者から未受診者へ受診勧奨を行っていただきます。
②アンケートの送付	①を実施後、一定期間過ぎても医療機関より結果の連絡がない場合は、対がん協会から未受診者へ直接アンケートを送付し、受診を勧奨します。
結果の問い合わせ	未受診者から医療機関を受診した情報を得た場合は、医療機関へ直接結果の問い合わせを行います。

6　安全管理体制

医療安全管理マニュアルを定め、日頃から事故防止に努めています。

事故が発生（または未遂）した場合は、原因を分析し、解決方法を記載した報告書を速やかに作成することとしており、報告書は全職員がシステム上で閲覧できるようになっています。また、医療安全推進会議（各科担当者）と医療安全管理委員会（課長級）をそれぞれ月１回開催し、報告書をもとに類似事例の発生予防につながる改善策を検討して、全職員へ還元しています。

7　検診車の保有状況

（単位：千円）

種別		検診車名称	購入年月（納入年月）	購入金額	財源内訳			備考
					道	中央補助金	自己資金	
胃肺検診車	1	しらかば　17号	4. 1	47,380	（札幌市）27,246		20,134	12吋ＩＩ Ｘ線ＴＶ車　胃検診車
	2	〃　102号	6. 9	57,917	54,000		3,917	胃、肺併用車 12吋ＩＩ　Ｘ線ＴＶ車
	3	〃　107号	8. 3	57,917	54,000		3,917	胃、肺併用車 12吋ＩＩ　Ｘ線ＴＶ車
	4	〃　108号	10. 3	59,220	33,811		25,409	胃、肺併用車 12吋ＩＩ　Ｘ線ＴＶ車
	5	〃　109号	12. 2	62,685	56,700		5,985	胃、肺併用車 12吋ＩＩ　Ｘ線ＴＶ車
	6	〃　113号	6. 11	57,917	54,000		3,917	胃、肺併用車 12吋ＩＩ　Ｘ線ＴＶ車
	7	〃　114号	5. 10	57,546	54,000		3,546	胃、肺併用車 12吋ＩＩ　Ｘ線ＴＶ車
	8	〃　115号	9. 1	59,740	54,000		5,740	胃、肺併用車 12吋ＩＩ　Ｘ線ＴＶ車
	9	〃　118号	6. 4	56,583			56,583	胃、肺併用車 12吋ＩＩ　Ｘ線ＴＶ車
	10	〃　120号	（15. 5）	22,659			22,659	胃、肺併用車 12吋ＩＩ　Ｘ線ＴＶ車
	11	〃　122号	（18. 1）	30,030			30,030	胃、肺併用車 12吋ＩＩ　Ｘ線ＴＶ車
	12	〃　123号	（26. 7）	29,568			29,568	胃、肺併用車 13吋ＩＩ　Ｘ線ＴＶ車
	13	〃　201号	13. 12	60,900	56,700		4,200	胃、肺併用車 12吋ＩＩ　Ｘ線ＴＶ車
	14	〃　202号	（14. 12）	62,790		日本宝くじ協会 62,790		胃、肺併用車 12吋ＩＩ　Ｘ線ＴＶ車
	15	〃　203号	21. 2	91,140		日本宝くじ協会 63,000	28,140	胃、肺併用車 12吋ＩＩ　Ｘ線ＴＶ車
	16	〃　204号	27. 2	65,880		ＪＫＡ 22,050	43,830	胃、肺併用車 13吋ＩＩ　Ｘ線ＴＶ車
胸部検診車	1	胸部検診車	（15. 11）	0	譲与			ミラーカメラ車
	2	エルム号	19. 2	97,545		日本宝くじ協会 60,900	（リース）36,645	低線量ヘリカルＣＴ検診車
婦人科検診車	1	しらゆり　2号	4. 7	29,767			14,767（秋山愛生館）15,000	超音波診断装置搭載
	2	しらゆり　5号	26. 12	4,600			4,600	超音波診断装置搭載
乳房検診車	1	すずらん　3号	（18. 2）	63,840		日本宝くじ協会 63,840		乳房Ｘ線装置（ＳＭＧ対応）
	2	〃　5号	24. 2	65,520		ＪＫＡ 11,550	53,970	乳房Ｘ線装置（ＳＭＧ対応）
送迎用バス	1	はまなす　1号	22. 7	26,460			26,460	受診者送迎車
	2	〃　2号	6. 9	17,201			17,201	受診者送迎車
	3	〃　3号	21. 4	6,031			6,031	受診者送迎車
	4	〃　4号	（12. 5）	19,530			リース物件	受診者送迎車
	5	〃　5号	27. 3	5,908			5,908	受診者送迎車

（平成27年３月31日現在）

8　施設整備に対する助成金の受入状況

（単位：円）

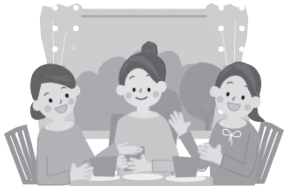
年度	助成機関	助成対象				年度計
		検診車	センター建設	センター設備	基本財産	
34	昭和33年度継承資金				128,699	
	北海道補助	253,550,000	769,900,000	98,500,000	300,000	
	札幌市補助	7,792,000	10,000,000	18,500,000	100,000	
	旭川市補助		45,000,000			
	郵政省配分金	37,500,000				
	郵政省ガン切手益金			10,080,000		
〜	日本自転車振興会	92,850,000	91,070,000	25,500,000		
	中央競馬社会福祉財団	17,000,000		15,000,000		
	日本ガン協会	3,000,000				
	日本小型自動車振興会	65,000,000	116,020,000	25,500,000		
	日本船舶振興会	38,750,000		4,600,000		
	釧路市補助			95,000,000		
63	市町村補助	3,980,000	20,617,041	22,569,884		
	一般寄付		54,240,952	81,706,454		2,023,755,030
元	中央競馬社会福祉財団			4,750,000		4,750,000
2	日本宝くじ協会	55,620,000				
	日本自転車振興会	21,630,000				77,250,000
3	北海道補助	33,849,000				
	札幌市補助	27,246,000				
	中央競馬社会福祉財団			6,400,000		67,495,000
4	北海道補助	33,849,000	40,000,000			
	旭川市補助		4,700,000			
	秋山愛生館	15,000,000				93,549,000
5	北海道補助	54,000,000				
	日本自転車振興会			5,072,000		
	中央競馬社会福祉財団			7,000,000		66,072,000
6	北海道補助	108,000,000				108,000,000
7	北海道補助	54,000,000				
	日本自転車振興会			12,823,000		
	中央競馬社会福祉財団			7,400,000		74,223,000
8	北海道補助	54,000,000	97,190,000			
	一般寄付		18,128,723			169,318,723
9	北海道補助	33,811,000	602,000,000	147,290,000		
	札幌市補助		287,744,000	73,645,000		
	日本自転車振興会	11,550,000				
	一般寄付		40,665,515			1,196,705,515
11	北海道補助	81,100,000				
	日本自転車振興会			13,335,000		
	中央競馬社会福祉財団			4,000,000		98,435,000
13	北海道補助	56,700,000				56,700,000
14	日本宝くじ協会	62,790,000				62,790,000
16	日本対がん協会			1,000,000		1,000,000
17	日本宝くじ協会	63,840,000				63,840,000
18	北海道補助			5,696,000		
	日本宝くじ協会	60,900,000				66,596,000
20	厚生労働省			95,550,000		
	日本宝くじ協会	63,000,000				158,550,000
21	日本対がん協会			2,000,000		2,000,000
23	JKA	11,550,000				11,550,000
26	JKA	22,050,000				22,050,000
累計		1,443,907,000	2,197,276,231	782,917,338	528,699	4,424,629,268

9 委託事業

年　度	業務名（契約相手先）	契約額	業　務　内　容
平成25年度 ～ 平成29年度	北海道におけるHPV併用検診に関する臨床試験 （ロシュ・ダイアグノステイックス株式会社）	800万円	子宮がん検診受診者を対象に、コバス4800HPVテストでHPV DNA検査を併用実施し、子宮頸部病変の検出におけるHR-HPVの検出または遺伝子型16型／18型判別の有用性を検討
平成25年度～	乳がん検診データ収集業務 （国立大学法人東北大学）	400円 （１件あたり）	乳がん検診検査結果、精密検査、治療情報等のデータ収集
平成25年度～	ピンクリボン活動支援プログラム「リボンの願い」 （北海道コカ・コーラボトリング株式会社）	（H26） 42万円	ピンクリボン支援自動販売機から寄せられた寄付の一部を、非営利市民団体に助成し、道内のピンクリボン活動を促進
平成26年度	北海道がん相談・ピアサポート等体制整備促進事業 （緊急雇用創出促進事業） （北海道）	1,200万円	相談員及びがん患者またはがん経験者をピアサポーターとして雇用し、人材育成を行うとともにがんサロンの設置・運営を行う。
平成26年度 ～ 平成27年度	がん診療機能評価事業 （地域医療再生基金事業） （北海道）	6,178,680円	ア　がん診断件数等のデータを把握、分析し、５大がん（肺・胃・大腸・乳・子宮）等について、がん診療連携拠点病院ごとのがん診療機能を評価するとともに、「がん診療機能評価マニュアル」を作成する。 イ　市町村のがん検診に関する事業評価を行うとともに、「がん検診精度管理マニュアル」を作成する。

◆北海道がん相談・ピアサポート等体制整備促進事業報告◆

留萌市と八雲町でがんサロンを開設しました



北海道は、がん対策の充実を図るため、２期目となる「北海道がん対策推進計画」を平成25年３月に策定しました。その中で、がん診療連携拠点病院又は指定病院が未整備の地域に、がん治療や療養・生活などについての相談支援や、患者相互の交流をはかることを目的とした「がんサロン」を設置するとともに、サロンを運営する人材の育成を行う『北海道がん相談・ピアサポート等体制整備促進事業』に取り組むこととなり、平成26年度は当協会が委託事業として受託し、留萌地域（留萌市）と北渡島檜山地域（八雲町）の２地域において実施しました。

事業実施にあたり、新たに相談員２名（保健師１名、医療ソーシャルワーカー１名）とピアサポーター（がん経験者）２名を雇用し、札幌などで開催されているサロンの見学をはじめ、がん相談研修会や勉強会への参加をはじめ、サロン運営者や医療関係者から助言や指導を受けるなど、相談スキルの向上を図りました。また、当該地域の情勢を把握し、地域にあったサロンの設置・運営方法を検討するため、地元の医療機関をはじめ行政等関係機関と協議を重ね、平成26年８月から平成27年３月まで、月１回サロンを開催しました。

最終回の第８回には、両地域の参加者から「サロンをぜひ継続してほしい、同様の悩みを持つ人と会うこと話すことでこんなに癒されるとは。今は治療の辛さに耐えてサロンに参加することが生きがいになっている。」など、継続を切望する意見が多数出されました。この意見を踏まえ両地域でそれぞれ検討していただいた結果、事業終了後の平成27年４月以降についても、留萌市においては留萌市立病院、八雲町においては八雲保健所、八雲町役場、八雲総合病院の３者の協力によりサロンの開設運営を継続していただけることとなりました。

【留萌地域がんサロン開催概要】　開催場所：留萌市立病院

開催回数	開催日	開催内容	講師	患者・家族他参加者数	スタッフ含参加者計
第１回	８月26日(火)	交流会	—	４名	６名
第２回	９月30日(火)	講話「抗がん剤のおはなし （副作用を中心に）」 茶話会	留萌市立病院 消化器内科部長	12名	19名
講演会	10月15日(水)	がんサロン普及啓発講演会 「一病息災…がんに負けないために」 留萌市はーとふる　２階　多目的ホール	五輪橋産科婦人科小児科病院 医師	—	69名
第３回	10月21日(火)	ヨガ教室 茶話会	Yoga for cancer ヨガ講師	３名	８名
第４回	11月25日(火)	講話「・簡単でおいしい食事の工夫 （症状別で選ぶおすすめメニュー） ・市販食品を使った栄養補給」	留萌市立病院 管理栄養士	5名	12名
第５回	12月16日(火)	クリスマス交流会	—	３名	12名
第６回	１月20日(火)	講話「口腔ケア　がん治療を受けるときに知っておきたいこと」 茶話会	札幌医科大学附属病院 歯科口腔外科 歯科衛生士	４名	12名

第７回	２月10日(火)	講話「お薬の飲み方」 茶話会	留萌市立病院 薬剤師	７名	14名
第８回	３月３日(火)	ひな祭り交流会	―	10名	14名

【八雲地域がんサロン開催概要】 開催場所：八雲総合病院

開催回数	開 催 日	開 催 内 容	講 師	患者・家族他参加者数	スタッフ含参加者計
第１回	８月22日(金)	ミニ勉強会「抗がん剤の副作用について」 茶話会	八雲総合病院 薬剤師	４名	15名
第２回	９月26日(金)	ミニ勉強会「脱毛時期のケア・工夫」 茶話会	札幌医科大学附属病院 看護師	２名	12名
第３回	10月24日(金)	ミニ勉強会「顔色を良く見せる技」 茶話会	化粧療法協会 会長	２名	９名
第４回	11月28日(金)	ミニ勉強会「リンパ浮腫のケア」 茶話会	八雲総合病院 理学療法士	5名	12名
第５回	12月19日(金)	ミニ勉強会「食事の話」 茶話会	八雲総合病院 栄養士	５名	15名
第６回	１月23日(金)	ミニ勉強会「医療費について」 茶話会	八雲総合病院 社会福祉士	４名	10名
第７回	２月20日(金)	ミニ勉強会「知って受けよう胃の検査」 茶話会	北海道対がん協会 医師	４名	12名
第８回	３月13日(金)	八雲町民公開講座 「がんを知る－がん征圧を目指して－」 茶話会	北海道対がん協会 会長	茶話会 ３名	公開講座 37名 茶話会 12名

Ⅲ　検診部門

1　平成26年度　検診受診者数

検診受診者数　　平成26年度（単位：人）

部位別＼センター別		合　計	札　幌	旭　川	釧　路
胃がん	検診車	86,279	46,576	26,185	13,518
	検診センター	28,553	16,416	8,423	3,714
	計	114,832	62,992	34,608	17,232
子宮がん	検診車	22,337	11,307	8,063	2,967
	検診センター	43,808	24,107	14,803	4,898
	計	66,145	35,414	22,866	7,865
乳がん	検診車	21,402	10,356	8,055	2,991
	検診センター	46,907	26,795	14,860	5,252
	計	68,309	37,151	22,915	8,243
肺がん	検診車	67,146	28,648	23,741	14,757
	検診センター	24,982	12,311	8,861	3,810
	計	92,128	40,959	32,602	18,567
肺がんCT検査	検診車	1,819	551	888	380
	検診センター	1,947	1,833	99	15
	計	3,766	2,384	987	395
内臓脂肪測定	検診車	666	144	322	200
	検診センター	1,540	1,470	70	－
	計	2,206	1,614	392	200
大腸がん	検診車	88,450	49,322	26,169	12,959
	検診センター	43,103	26,245	10,902	5,956
	計	131,553	75,567	37,071	18,915
前立腺がん	検診車	9,851	3,779	3,421	2,651
	検診センター	4,974	2,713	1,486	775
	計	14,825	6,492	4,907	3,426
特定健康診査	検診車	40,309	17,087	14,722	8,500
	検診センター	12,003	8,024	2,585	1,394
	計	52,312	25,111	17,307	9,894
定期健康診断	検診車	6,012	4,697	856	459
	検診センター	6,613	4,100	707	1,806
	計	12,625	8,797	1,563	2,265
骨検診	検診車	895	819	－	76
	検診センター	11,376	7,572	3,228	576
	計	12,271	8,391	3,228	652
人間ドック	検診車	97	－	97	－
	検診センター	2,005	1,484	356	165
	計	2,102	1,484	453	165
超音波検査 婦人科	検診車	17,552	7,490	7,714	2,348
	検診センター	38,916	19,834	14,571	4,511
	計	56,468	27,324	22,285	6,859
超音波検査 腹部	検診車	234	－	234	－
	検診センター	2,788	2,788	－	－
	計	3,022	2,788	234	－
合計	検診車	363,049	180,776	120,467	61,806
	検診センター	269,515	155,692	80,951	32,872
	計	632,564	336,468	201,418	94,678

2　平成25年度　一次検診の成績

胃がん検診

平成25年度の北海道における胃がん検診対象者は1,796,029人で、受診数は167,997人、受診率は9.4％であった。（※）平成25年度地域保健・健康増進事業報告より

このうち、当協会では、14台の検診車で117市町村（札幌59・旭川40・釧路18）を延2,422日（札幌1,299日・旭川746日・釧路377日）巡回したほか、各検診センター受診分とあわせて106,526人に検診を実施した。（受託実施率63.4％）これに事業所分など10,699人を加え、総数117,225人に実施し、213名（平成27年３月31日現在）のがんを発見した。

【検診の受診状況】

受診総数117,225名のうち、検診車による巡回検診は87,763名（74.9％）、検診センターでの施設検診は29,462名（25.1％）であった。受診数は昨年度に比べ、4,828名減少している（検診車は3,578名、検診センターは1,250名の減少、減少率4.0％）（表１・２）男性660名、女性4,168名が減少している。

男女別では、男性47,908名（40.9％）で、女性69,317名（59.1％）と、女性の比率がやや高い。年齢別では、60歳代以降の占める割合が高く、全体で68.0％を占めている（表４）。

【精密検査の受診状況】

要精検者は7,601名で、要精検率は6.5％であった。そのうち精検受診数は6,602名であり、精検受診率は86.9％であった。要精検率、精検受診率ともに例年ほぼ横ばいである。

男女別の要精検率は、男性8.7％、女性5.0％で男性が高い。精検受診率では、女性では40歳以上のどの年代も80％以上であるのに対し、男性では60歳未満が80％を下回っている。

【発見がんについて】

平成25年度の胃がん発見数は213名で、がん発見率は0.18％であった。男女別では、男性146名（0.28％）、女性67名（0.10％）であった（表６）。

追跡調査による発見がんの内訳（表８）について、平成24年度では、発見がん209名のうち手術施行者は190名で、手術結果の内訳は早期がん149名（78.4％）、進行がん41名（21.6％）であり、早期がんがおよそ80％を占めている。

【まとめ】

胃がん検診の受診数は減少傾向にある。特に巡回検診での減少が顕著であることから、市町村との連携を図り、受診数の拡大と継続受診の点から、検診受診対象者への勧奨を働きかけていく必要がある。

要精検者へは、精検受診率の低い40～50歳代の男性を中心に受診勧奨を強化していく必要がある。

受診回数の少ない方ほどがんの発見率が高い。検診で見つかるがんは早期がんが多く、ほぼ完治が可能であることを踏まえて、受診者への継続受診の必要性を周知していくことが重要である。

（保健師　張山　朋恵）

表１　胃がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和38年度～平成25年度

年度	受診数			発見がん					
	総数	検診センター	検診車	総数	%	検診センター	%	検診車	%
38～20	7,084,457	688,396	6,396,061	10,355	0.15	878	0.13	9,477	0.15
21	137,327	32,455	104,872	248	0.18	42	0.13	206	0.20
22	134,630	32,822	101,808	255	0.19	44	0.13	211	0.21
23	127,683	31,500	96,183	198	0.16	35	0.11	163	0.17
24	122,053	30,712	91,341	209	0.17	50	0.16	159	0.17
25	117,225	29,462	87,763	213	0.18	36	0.12	177	0.20
計	7,723,375	845,347	6,878,028	11,478	0.15	1,085	0.13	10,393	0.15

表２　胃がん検診実施状況及び発見がん数（平成25年度・管轄別）

管轄	受診数			要精検数						精検受診数		発見がん						陽性反応的中度
	総数	検診センター	検診車	総数	%	検診センター	%	検診車	%	総数	%	総数	%	検診センター	%	検診車	%	
札幌	63,335	17,011	46,324	3,811	6.0	828	4.9	2,983	6.4	3,325	87.2	130	0.21	24	0.14	106	0.23	3.91
旭川	36,028	8,591	27,437	2,594	7.2	552	6.4	2,042	7.4	2,288	88.2	60	0.17	7	0.08	53	0.19	2.62
釧路	17,862	3,860	14,002	1,196	6.7	190	4.9	1,006	7.2	989	82.7	23	0.13	5	0.13	18	0.13	2.33
総数	117,225	29,462	87,763	7,601	6.5	1,570	5.3	6,031	6.9	6,602	86.9	213	0.18	36	0.12	177	0.20	3.23

表３　胃がん検診結果（累計）

昭和38年度～平成25年度

年度	受診数	要精検	要精検率%	精検受診数	精検受診率%	精検結果内訳							
						胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍瘢痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
38～20	7,084,457	800,952	11.3	702,187	87.7	10,355	57,312	54,290	90,628	12,329	184,971	27,875	264,427
21	137,327	9,608	7.0	8,402	87.4	248	1,316	421	1,232	92	3,146	633	1,314
22	134,630	9,272	6.9	8,161	88.0	255	1,217	414	1,206	80	3,181	598	1,210
23	127,683	8,293	6.5	7,259	87.5	198	1,137	330	1,056	67	2,882	550	1,039
24	122,053	7,966	6.5	7,028	88.2	209	1,083	301	961	54	3,017	515	888
25	117,225	7,601	6.5	6,602	86.9	213	890	266	772	69	3,253	478	661
計	7,723,375	843,692	10.9	739,639	87.7	11,478	62,955	56,022	95,855	12,691	200,450	30,649	269,539

表４　胃がん検診結果（平成25年度、性・年齢別）

年齢	性別	受診数	要精検数	精検受診数	精検結果内訳							
					胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍瘢痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
～39	男	2,134	43	29	0	2	2	2	1	16	2	4
	女	1,576	18	11	0	0	0	2	0	7	1	1
	計	3,710	61	40	0	2	2	4	1	23	3	5
40～44	男	3,622	115	81	0	6	5	13	4	38	5	10
	女	3,971	73	62	2	10	3	4	6	24	5	8
	計	7,593	188	143	2	16	8	17	10	62	10	18
45～49	男	3,143	160	115	0	8	6	26	7	55	7	6
	女	4,236	99	81	1	16	5	9	3	32	4	11
	計	7,379	259	196	1	24	11	35	10	87	11	17
50～54	男	3,130	183	133	4	6	5	19	4	71	9	15
	女	5,268	140	121	0	16	5	9	2	64	10	15
	計	8,398	323	254	4	22	10	28	6	135	19	30
55～59	男	3,544	300	204	6	17	10	33	1	111	10	16
	女	6,904	301	261	2	42	13	26	4	126	22	26
	計	10,448	601	465	8	59	23	59	5	237	32	42
60～64	男	6,594	686	549	14	41	36	113	6	257	28	54
	女	12,725	633	571	11	94	19	43	6	297	39	62
	計	19,319	1,319	1,120	25	135	55	156	12	554	67	116
65～69	男	8,202	798	675	27	86	32	99	7	338	35	51
	女	13,190	760	710	17	98	24	71	8	368	42	82
	計	21,392	1,558	1,385	44	184	56	170	15	706	77	133
70～74	男	8,414	869	766	44	80	28	114	5	366	52	77
	女	11,988	726	682	16	113	23	48	1	340	59	82
	計	20,402	1,595	1,448	60	193	51	162	6	706	111	159
75～79	男	5,835	634	578	29	71	15	61	2	289	56	55
	女	6,573	498	468	11	95	16	32	1	221	43	49
	計	12,408	1,132	1,046	40	166	31	93	3	510	99	104
80～	男	3,290	365	329	22	58	12	34	1	143	38	21
	女	2,886	200	176	7	31	7	14	0	90	11	16
	計	6,176	565	505	29	89	19	48	1	233	49	37
総計	男	47,908	4,153	3,459	146	375	151	514	38	1,684	242	309
	女	69,317	3,448	3,143	67	515	115	258	31	1,569	236	352
	計	117,225	7,601	6,602	213	890	266	772	69	3,253	478	661

表５　年齢別受診数と発見がん数（累計）

昭和38年度～平成24年度

年　齢	受　診　数	発見がん	発　見　率（%）
～29	61,093	9	0.01
30～39	795,047	221	0.03
40～49	1,966,598	1,031	0.05
50～59	2,033,179	2,175	0.11
60～69	1,868,785	4,299	0.23
70～	881,282	3,530	0.40
年齢不詳	166	0	0.00
総　数	7,606,150	11,265	0.15

※10歳階級表

表６　性・年齢別受診数と発見がん数（平成25年度）

年　齢	受　診　数		発見がん		発　見　率（%）	
性　別	男	女	男	女	男	女
～29	84	44	0	0	0.00	0.00
30～34	462	296	0	0	0.00	0.00
35～39	1,588	1,236	0	0	0.00	0.00
40～44	3,622	3,971	0	2	0.00	0.05
45～49	3,143	4,236	0	1	0.00	0.02
50～54	3,130	5,268	4	0	0.13	0.00
55～59	3,544	6,904	6	2	0.17	0.03
60～64	6,594	12,725	14	11	0.21	0.09
65～69	8,202	13,190	27	17	0.33	0.13
70～74	8,414	11,988	44	16	0.52	0.13
75～79	5,835	6,573	29	11	0.50	0.17
80～	3,290	2,886	22	7	0.67	0.24
総　数	47,908	69,317	146	67	0.30	0.10

※５歳階級表

表７　受診歴別発見がん数（平成25年度・性別）

受診歴	受　診　数		発見がん		発　見　率（%）	
	男	女	男	女	男	女
初　回	9,429	12,299	44	14	0.47	0.11
1 年 前	29,655	40,260	71	31	0.24	0.08
2 年 前	5,188	10,533	17	14	0.33	0.13
3 年 前	2,224	3,233	8	5	0.36	0.15
4年前以上	1,412	2,992	6	3	0.42	0.10
計	47,908	69,317	146	67	0.30	0.10

表８　追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和38年度～平成24年度

年度	発見胃がん	A 手術施行	%	B手術施行内訳（B／A%）						C内視鏡切除（再掲）（C／A%）	%	手術未施行	%
				早期がん	%	進行がん	%	深達度不明	%				
38～20	10,355	9,683	93.5	5,674	58.6	3,816	39.4	193	2.0			672	6.5
21	248	233	94.0	168	72.1	64	27.5	1	0.4	77	33.0	15	6.0
22	255	240	94.1	172	71.7	68	28.3	0	0.0	72	30.0	15	5.9
23	198	182	91.9	142	78.0	40	22.0	0	0.0	61	33.5	16	8.1
24	209	190	90.9	149	78.4	41	21.6	0	0.0	83	43.7	19	9.1
計	11,265	10,528	93.5	6,305	59.9	4,029	38.3	194	1.8			737	6.5

表９　発見がんにおける手術施行者の深達度（平成24年度）

手術施行	早　期		進　　行			深達度不明
	M	SM	MP	SS	S	
190	95	54	11	16	14	0

胃癌取扱い規約に準ずる。

子宮頸がん検診

北海道における子宮がん検診の受診数は、平成25年度167,940人、平成24年度169,233人で、２年合計で337,173人となっている。ここから、２年連続受診数16,913人を差し引いた320,260人は、全道の対象者904,282人に対し、35.4％の受診率となっている。（※）平成24年度地域保健･健康増進事業報告より。「がん対策推進基本計画」（平成24年６月８日閣議決定）に基づき、平成25年度より、がん検診の受診率の算定対象年齢を20歳から69歳までに変更した。

このうち、当協会では、平成25年度は121市町村61,193人、平成24年度は120市町村62,333人、計123,526人に検診を実施した（受託実施率36.6％）

平成25年度に限ってみると、２台の検診車で121市町村（札幌66・旭川36・釧路19）を延239日（札幌118日・旭川81日・釧路40日）巡回したほか、各検診センター、事業所分などを加え、総数67,282人に実施し、87名（平成27年２月１日現在）のがんを発見した。

【子宮頸がん検診】

子宮頸がん検診の受診総数は67,282名で､検診車による巡回検診は23,429名（34.8％）､検診センターでの施設検診は43,853名（65.2％）を実施した。平成25年度の受診数は前年度の受診数と比較すると768名減となっており､巡回検診では477名の増となっているが､施設検診で1,245名の減少が見られた。

年齢階級別では20歳代、30歳代の受診が増加し、40歳代、50歳代では受診数の減少が見られた。

しかし、全体の受診割合を見ると、依然として20歳代、30歳代の受診割合は低く、40歳以上での受診割合が高くなっている。特に60歳代の受診割合が高い傾向が見られる。

検診結果は平成22年度よりベセスダシステムによる細胞診分類を実施しており、細胞診陰性者が66,173名、細胞診陽性者が1,109名という結果であった。

精密検査該当者（要経過観察は除く）859名のうち、精密検査受診数は798名であり、精検受診率は92.9％、発見がん数は71名であった。また、経過観察の指示がでたものは一定期間経過を追っており、経過観察該当者938名のうち経過観察受診数は744名で、経過観察後16名のがんが見つかっている。

発見がんを受診歴別で比べると初回受診者から見つかるがんの割合が高い。

平成25年度の発見がん87名のうち49名は上皮内がんであり、年齢階級別の発見がん数では40歳代が28名と最も多く見られるが、発見率で見ると30歳代が0.26％（19名）と最も高くなっている。子宮頸がんは20歳以上を対象としているが、当協会では20歳代・30歳代の受診数は少ない。この年代の細胞診陽性率が高く30歳代のがん発見率は高い。早期にがんを見つけるためには、若年層に検診の重要性を理解してもらえるよう働きかけていくことが必要である。

【子宮体がん検診】

子宮体がん検診の受診総数は3,597名で、検診車による巡回検診は634名、検診センターでの施設検診は2,963名を実施した。子宮体がん検診は不正出血等の症状のある者を対象とし、最終的には医師の判断で実施している。

子宮体がん検診からの精密検査該当者は26名、経過観察該当者は207名であった。精密検査該当者26名のうち全員が精密検査を受診し、精検受診率は100％となっている。

発見がん数は12名で、年齢階級別では50歳以上で体がんが見つかっており、発見率は0.33％であった。

（保健師　水野　綾子）

表１　子宮がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和41年度～平成25年度

年　度	受　診　数			発　見　が　ん					
	総　数	検診センター	検　診　車	総　数	%	検診センター	%	検　診　車	%
41～20	3,880,418	1,494,896	2,385,522	6,193	0.16	2,813	0.19	3,380	0.14
21	80,255	52,870	27,385	176	0.11	112	0.21	64	0.23
22	77,343	51,479	25,864	164	0.21	128	0.25	36	0.14
23	74,325	49,101	25,224	107	0.14	75	0.15	32	0.13
24	68,050	45,098	22,952	94	0.14	61	0.14	33	0.14
25	67,282	43,853	23,429	87	0.13	63	0.14	24	0.10
計	4,247,673	1,737,297	2,510,376	6,821	0.16	3,252	0.19	3,569	0.14

※Ｓ45～53年まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は８名
※自己採取を除く

表２　子宮がん検診実施状況及び発見がん数（平成25年度・管轄別）

管轄	受　診　数			要　精　検　数						発　見　が　ん						陽性反応的中度
	総　数	検診センター	検診車	総数	%	検診センター	%	検診車	%	総　数	%	検診センター	%	検診車	%	
札幌	36,341	24,619	11,722	728	2.0	510	2.1	218	1.9	53	0.15	41	0.17	12	0.10	6.85
旭川	22,808	14,420	8,388	92	0.4	57	0.4	35	0.4	30	0.13	20	0.14	10	0.12	23.60
釧路	8,133	4,814	3,319	39	0.5	26	0.5	13	0.4	4	0.05	2	0.04	2	0.06	10.81
計	67,282	43,853	23,429	859	1.3	593	1.4	266	1.1	87	0.13	63	0.14	24	0.10	8.90

※陽性反応的中度は経過観察からの発見がんをのぞいて算出した。

表３　子宮がん検診結果（累計）

昭和41年度～平成25年度

年　度	受　診　数						発　見　が　ん					
	総　数	有　所　見				異常なし	総　数	上皮内	浸　潤		区分不能	その他のがん
		総　数	要精検	経過観察	その他				Ia	Ib以上		
41～20	3,880,418	593,143	22,231	43,730	527,182	3,287,275	6,193	3,520	1,186	783	50	654
21	80,255	10,630	300	677	9,653	69,625	176	114	14	11	1	36
22	77,343	10,388	310	629	9,449	66,955	164	95	15	15	1	38
23	74,325	9,655	369	443	8,843	64,670	107	63	9	5	1	29
24	68,050	9,121	438	329	8,354	58,929	94	49	7	3	0	35
25	67,282	10,215	859	327	9,029	57,067	87	49	9	12	1	16
計	4,247,673	643,152	24,507	46,135	572,510	3,604,521	6,821	3,890	1,240	829	54	808

表４　子宮がん検診精密検査結果（累計）

昭和41年度～平成25年度

年　度	精密検査該当数	精密検査受診数		内訳					
				が　ん		異型上皮		良　性	
41～20	22,231 (4,493)	21,924 (4,345)	98.6% (96.7)	4,309 (254)	19.7% (5.8)	4,493 (83)	20.5% (1.9)	13,122 (4,008)	59.9% (92.2)
21	300 (45)	291 (44)	97.0% (97.8)	103 (21)	35.4% (47.7)	114 (9)	39.2% (20.5)	74 (14)	25.4% (31.8)
22	310 (38)	296 (38)	95.5% (100.0)	113 (26)	38.2% (68.4)	143 (4)	48.3% (10.5)	40 (8)	13.5% (21.1)
23	369 (33)	350 (31)	94.9% (93.9)	79 (13)	22.6% (41.9)	241 (7)	68.9% (22.6)	30 (11)	8.6% (35.5)
24	438 (36)	415 (35)	94.7% (97.2)	73 (17)	17.6% (48.6)	304 (12)	73.3% (34.3)	38 (6)	9.2% (17.1)
25	859 (26)	798 (26)	92.9% (100)	71 (12)	8.9% (46.2)	354 (3)	44.4% (11.5)	373 (11)	46.7% (42.3)
計	24,507 (4,671)	24,074 (4,519)	98.2% (96.7)	4,748 (343)	19.7% (7.6)	5,649 (118)	23.5% (2.6)	13,677 (4,058)	56.8% (89.8)

注）内訳は、組織検査の結果で確定診断ではない。自己採取を除く。
　　（　　）内数字は内膜診再掲。

表５　子宮がん検診経過観察結果（累計）

昭和41年度～平成25年度

年　度	経過観察該当数		経過観察受診数		経過観察からの発見がん
41～20	50,327	100.0%	46,329	92.1%	1,937
21	896	100.0%	830	92.6%	73
22	833	100.0%	764	91.7%	51
23	724	100.0%	664	91.7%	28
24	667	100.0%	595	89.2%	21
25	938	100.0%	744	79.3%	16
計	54,385	100.0%	49,926	91.8%	2,126

注）経過観察該当数は二次検診を含む統計。
　　24年度の経過観察受診数はまだ該当月に達していないものがいるため、集計が完了できない。ただし発見がんは24年度の確定数である。
　　自己採取は除く。

表６　年齢別受診数と発見がん数（累計）

昭和41年度～平成24年度

年　齢	受　診　数	発 見 が ん	発見率（%）
～29	38,586	96	0.25
30～39	888,499	1,946	0.22
40～49	1,291,396	2,209	0.17
50～59	1,114,883	1,489	0.13
60～69	675,376	758	0.11
70～	171,485	228	0.13
総　数	4,180,225	6,726	0.16

※10歳階級表

表８　受診歴別発見がん数（平成25年度）

受診歴	受　診　数	発 見 が ん	発見率（%）
初　回	12,135	49	0.40
１年前	17,191	6	0.03
２年前	23,430	24	0.10
３年前	4,585	1	0.02
４年前以上	9,941	7	0.07
計	67,282	87	0.13

表７　年齢別受診数と発見がん数（平成25年度）

年　齢	受　診　数	発 見 が ん	発見率（%）
～19	15	0	0.00
20～24	737	0	0.00
25～29	1,558	3	0.19
30～34	2,950	10	0.34
35～39	4,455	9	0.20
40～44	7,608	20	0.26
45～49	5,888	8	0.14
50～54	6,534	7	0.11
55～59	6,777	5	0.07
60～64	10,846	9	0.08
65～69	8,841	9	0.10
70～74	7,309	6	0.08
75～79	2,897	0	0.00
80～	867	1	0.12
総　数	67,282	87	0.13

※５歳階級表

表９　子宮頸がん検診細胞診結果（累計）

昭和41年度～平成21年度

年　齢	受診数	クラス分類							
		Ⅰ	Ⅱ		Ⅲ			Ⅳ	Ⅴ
			Ⅱ	Ⅱr	Ⅲa	Ⅲ	Ⅲb		
		実数							
41～16	3,579,330	2,219,770	1,327,347	8,413	13,740	960	5,711	2,304	1,085
17	78,393	31,378	46,098	226	527	0	137	11	16
18	71,549	27,549	43,200	181	432	0	140	31	16
19	78,037	29,947	47,260	238	419	0	140	22	11
20	73,109	26,007	46,185	287	426	0	167	20	17
21	80,255	31,264	48,130	216	401	0	187	33	24
計	3,960,673	2,365,915	1,558,220	9,561	15,945	960	6,482	2,421	1,169
		率　％							
41～16	100	62.02	37.08	0.24	0.38	0.03	0.16	0.06	0.03
17	100	40.03	58.80	0.29	0.67	0.00	0.17	0.01	0.02
18	100	38.50	60.38	0.25	0.60	0.00	0.20	0.04	0.02
19	100	38.38	60.56	0.30	0.54	0.00	0.18	0.03	0.01
20	100	35.57	63.17	0.39	0.58	0.00	0.23	0.03	0.02
21	100	38.96	59.97	0.27	0.50	0.00	0.23	0.04	0.03
計	100	59.74	39.34	0.24	0.40	0.02	0.16	0.06	0.03

注）自己採取を除く。

平成22年度～平成25年度

年度	受診数	ベセスダシステム											
		NILM	ASCUS	LSIL	ASC-H	HSIL	SCC	AGCNO	AGC	AIS	ADC	OTH	USAT
22	77,343	76,517	261	220	37	240	10	23	17	1	5	0	12
23	74,325	73,608	239	207	38	190	7	18	8	0	0	0	10
24	68,050	67,360	254	171	47	163	6	20	9	2	7	1	10
25	67,282	66,173	480	20	230	87	6	227	1	7	1	0	50

注）平成22年度よりベセスダシステムによる細胞診分類を実施　　子宮頸部・体部癌取扱い規約に準ずる。

表10　子宮体がん検診実施状況及び発見がん数（抜粋・累計）

昭和41年度～平成25年度

年　度	受診数			発見がん				
	総　数	検診センター	検診車	総　数	検診センター	%	検診車	%
62～20	83,807	61,347	22,460	330	232	0.38	98	0.44
21	4,867	4,058	809	21	18	0.44	3	0.37
22	4,676	3,913	763	26	24	0.61	2	0.26
23	4,161	3,525	636	16	11	0.31	5	0.79
24	3,359	2,887	472	17	15	0.52	2	0.42
25	3,597	2,963	634	12	10	0.34	2	0.32
計	104,467	78,693	25,774	422	310	0.39	112	0.43

表11　子宮体がん検診結果（抜粋・累計）

昭和62年度～平成25年度

年　度	受診数	異常なし	要精検	経過観察	細胞診結果			発見がん
					陰　性	疑陽性	陽　性	
実　数								
62～20	83,807	80,597	1,492	1,718	80,847	2,726	234	330
21	4,867	4,707	45	115	4,720	133	14	21
22	4,676	4,542	38	96	4,545	118	13	26
23	4,161	4,017	33	111	4,024	128	9	16
24	3,359	3,215	36	108	3,218	131	10	17
25	3,597	3,364	26	207	3,371	216	10	12
計	104,467	100,442	1,670	2,355	100,725	3,452	290	422
率　%								
62～20	100	96.2	1.8	2.0	96.5	3.3	0.3	0.39
21	100	96.7	0.9	2.4	97.0	2.7	0.3	0.43
22	100	97.1	0.8	2.1	97.2	2.5	0.3	0.56
23	100	96.5	0.8	2.7	96.7	3.1	0.2	0.38
24	100	95.7	1.1	3.2	95.8	3.9	0.3	0.51
25	100	93.5	0.8	5.8	93.7	6.0	0.3	0.33
計	100	96.1	1.6	2.3	96.4	3.3	0.3	0.40

注）平成25年度までの発見がんの臨床進行期は　0期　12人、Ia　123人、Ib　144人、Ic　27人、Ⅱ　27人、Ⅲ　36人、Ⅳ　2人、肉腫　12人、転移性腺がん　2人、卵巣がん　6人、進行期不明　11人、他　4人である。

表12　子宮体がん検診年齢別受診数と子宮体がん発見数（抜粋・累計）

平成16年度～平成24年度

年　齢	受診数	発見がん	発見率（%）
～29	14	0	0.00
30～39	416	2	0.48
40～49	5,935	17	0.29
50～59	18,028	85	0.47
60～69	13,864	58	0.42
70～	4,578	25	0.55
総　数	42,835	187	0.44

※10歳階級表

表13　子宮体がん検診年齢別受診数と子宮体がん発見数（抜粋・平成25年度）

年　齢	受診数	発見がん	発見率（%）
～29	0	0	0.00
30～34	6	0	0.00
35～39	18	0	0.00
40～44	153	0	0.00
45～49	324	0	0.00
50～54	647	4	0.62
55～59	513	2	0.39
60～64	785	0	0.00
65～69	553	4	0.72
70～	598	2	0.33
総　数	3,597	12	0.33

※５歳階級表

乳がん検診

北海道における乳がん検診の受診数は、平成25年度107,517人、平成24年度109,845人で、２年合計で217,362人となっている。ここから、２年連続受診数10,333人を差し引いた207,029人は、全道の対象者637,543人に対し、32.5％の受診率となっている。（※）平成25年度地域保健・健康増進事業報告より。「がん対策推進基本計画」（平成24年６月８日閣議決定）に基づき、平成25年度より、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳までに変更した。

このうち、当協会では、平成25年度は114市町村63,409人、平成24年度は113市町村64,565人、計127,974人に検診を実施した（受託実施率58.9％）

平成25年度に限ってみると、２台の検診車で114市町村（札幌64・旭川36・釧路14）を延277日（札幌133日・旭川101日・釧路43日）巡回したほか、各検診センター、事業所分などを加え、総数68,885人に実施し、291名（平成27年３月31日現在）のがんを発見した。

【検診の受診状況】

受診総数68,885名のうち、検診車による巡回検診は21,958名（31.9％）、検診センターでの施設検診は46,927名（68.1％）であった。国の指針による40歳以上のマンモグラフィ併用検診対象者は隔年受診のため、平成23年度の受診数と比較すると6,028名減（検診車が944名、検診センターが5,084名の減少、減少率8.0％）であった。受診歴別にみると、初回受診者数は2,928名減（減少率11.2％）、１年前受診者数は905名減（減少率5.5％）、２年前受診者数は2,727名減（減少率9.7％）、３年前受診者数は532名増（増加率12.5％）、となっている。70歳以上の受診数は増加しているが、全体的に受診数の減少がみられた。

要精検者は2,953名（要精検率4.3％）、経過観察者は131名であった。

【発見がんの状況】

平成25年度の発見がん数は291名、乳がん発見率0.42％、陽性反応的中度10.08％であった。

乳がん発見率を年齢階級別にみると、75～79歳が0.69％と最も高く、次いで65～69歳で0.62％、45～49歳で0.52％、60～64歳で0.44％となっている。全体的には、65歳以上の発見がん率が高いが、ここ数年は40歳代の発見がん率にも高い傾向がみられる。

また、受診歴別にみると、初回受診者では0.71％と圧倒的に多く、次いで３年前受診は0.42％、２年前受診者が約0.32％、１年前受診者で0.15％、であった。初回受診者のなかでも、４年以上あけた再受診者のがん発見率が高かった。平成21年度から平成24年度では、１期以下の早期がん割合は68％、非浸潤癌の割合は18％であった。

【まとめ】

最近では、北海道の受診数の低下と同様に当会でも受診数の減少がみられる。クーポン受診率をあげるため個別検診を可能とし、医療機関での受診機会拡大を図っている自治体が増えた影響もあり、検診車における集団検診での受診数は減少している。受診数は平成21年度をピークに減少しているが、同年より超音波検査による一次検診を希望で実施しており、その受診数はわずかではあるが増加がみられる。ピンクリボン活動などの啓発活動により、一部では乳がんに対しての関心が高まっていることが伺えるが、いまだ当会では初回受診者数が年々減少しており、初回受診者の開拓が長年の課題である。初めて受診する人が、不安なく検診に望め、また、１年後、２年後の再受診につながるような環境づくりができるよう努めたい。

（保健師　周東　百合子）

表１　乳がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和48年度～平成25年度

年　度	受　診　数			発　見　が　ん					
	総　数	検診センター	検　診　車	総　数	%	検診センター	%	検　診　車	%
48～20	2,066,920	1,170,428	896,492	5,786	0.28	4,169	0.36	1,617	0.18
21	79,498	55,577	23,921	396	0.50	287	0.52	109	0.46
22	76,686	53,793	22,893	366	0.48	273	0.51	93	0.41
23	74,913	52,011	22,902	293	0.39	212	0.41	81	0.35
24	70,009	48,142	21,867	333	0.48	240	0.50	93	0.43
25	68,885	46,927	21,958	291	0.42	216	0.46	75	0.34
計	2,436,911	1,426,878	1,010,033	7,465	0.31	5,397	0.38	2,068	0.20

注）平成17年度よりマンモグラフィを全員に実施。

表２　乳がん検診実施状況及び発見がん数（平成25年度・管轄別）

管轄	受　診　数			要　精　検　数						発　見　が　ん						陽性反応的中度
	総数	検診センター	検診車	総数	%	検診センター	%	検診車	%	総数	%	検診センター	%	検診車	%	
札幌	38,186	27,349	10,837	1,441	3.77	932	3.41	509	4.70	158	0.41	118	0.43	40	0.37	11.31
旭川	22,306	14,445	7,861	1,044	4.68	659	4.56	385	4.90	106	0.48	80	0.55	26	0.33	10.17
釧路	8,393	5,133	3,260	468	5.58	136	2.65	332	10.18	27	0.32	18	0.35	9	0.28	6.01
計	68,885	46,927	21,958	2,953	4.29	1,727	3.68	1,226	5.58	291	0.42	216	0.46	75	0.34	10.08

※陽性反応的中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表３　乳がん検診結果（累計）

昭和48年度～平成25年度

年　度	受診数	異常なし	有　所　見				精　検　内　訳			
			総　数	良　性	経過観察	要精検	X－P	超音波	細胞診	要組織
48～20	2,066,920	1,870,216	196,704	57,246	17,123	122,335	67,398	58,058	12,200	31,750
21	79,498	74,317	5,181	646	245	4,290	682	2,430	143	2,508
22	76,686	71,858	4,828	550	280	3,998	475	1,960	136	2,504
23	74,913	70,843	4,070	522	252	3,296	597	1,509	89	2,157
24	70,009	65,775	4,234	606	244	3,384	505	1,257	116	2,414
25	68,885	65,215	3,670	586	131	2,953	345	811	109	2,370
計	2,436,911	2,218,224	218,687	60,156	18,275	140,256	70,002	66,025	12,793	43,703

注）精検内訳と要精検は１人で２以上を実施するものがあり一致しない。
　　要組織診の内には病院紹介を含む。

表４　乳がん検診結果（有所見内訳・累計）

昭和48年度～平成25年度

年　度	受診数	異常なし	有所見内訳					甲状腺がん	%
			乳がん	%	乳腺症	乳腺線維腺腫	その他		
48～20	2,066,920	1,870,216	5,786	0.28	134,136	6,330	52,352	1,738	0.08
21	79,498	74,317	396	0.50	1,652	314	2,934	18	0.02
22	76,686	71,858	366	0.48	1,278	265	3,045	7	0.01
23	74,913	70,843	293	0.39	1,114	233	2,481	10	0.01
24	70,009	65,775	333	0.48	1,072	234	2,643	1	0.00
25	68,885	65,215	291	0.42	962	229	1,975	0	0.00
計	2,436,911	2,218,224	7,465	0.31	140,214	7,605	65,430	1,774	0.07

注）有所見内訳と有所見総数は１人で２以上の所見を有するものがあり一致しない。

表５　乳がん検診要組織診結果（累計）

昭和53年度～平成25年度

年　度	要組織診該当数	組織診受診数	有所見							
			乳がん	%	乳腺症	%	乳腺線維腺腫	%	その他	%
53～20	31,581	30,892	4,900	15.5	10,325	32.7	2,344	7.4	12,825	40.6
21	2,508	2,451	333	13.3	354	14.1	124	4.9	1,517	60.5
22	2,504	2,464	291	11.6	368	14.7	121	4.8	1,573	62.8
23	2,157	2,116	261	12.1	309	14.3	92	4.3	1,395	64.7
24	2,414	2,355	303	12.6	289	12.0	109	4.5	1,629	67.5
25	2,370	2,295	291	12.3	241	10.2	106	4.5	1,606	67.8
計	43,534	42,573	6,379	14.7	11,886	27.3	2,896	6.7	20,545	47.2

注）組織診受診数と有所見は１人で２以上の所見を有するものがあり一致しない。

表６　年齢別受診数と発見がん数（累計）

昭和48年度～平成24年度

年齢	受診数	発見がん	発見率（%）
～29	14,282	14	0.10
30～39	323,419	362	0.11
40～49	655,858	2,055	0.31
50～59	693,194	2,038	0.29
60～69	523,134	1,941	0.37
70～	158,139	764	0.48
計	2,368,026	7,174	0.30

※10歳階級表

表７　年齢別受診数と発見がん数（平成25年度）

年齢	受診数	発見がん	発見率（%）
～29	639	1	0.16
30～34	1,413	0	0.00
35～39	2,481	3	0.12
40～44	7,797	26	0.33
45～49	7,152	37	0.52
50～54	7,846	23	0.29
55～59	7,814	33	0.42
60～64	12,378	54	0.44
65～69	9,258	57	0.62
70～74	7,867	33	0.42
75～79	3,183	22	0.69
80～	1,057	2	0.19
計	68,885	291	0.42

※５歳階級表

表８　受診歴別発見がん数（平成25年度）

受診歴	受診数	発見がん	発見率（%）
初回受診	23,226	166	0.71
１年前受診	15,508	23	0.15
２年前受診	25,346	82	0.32
３年前受診	4,805	20	0.42
計	68,885	291	0.42

初回受診には、４年以上受診のなかった方も含む

表９　がん発見時の受診状況と発見までの期間（累計）

昭和48年度～平成24年度

年度	がん	発見時の内訳		
		初回受診	経過観察	再受診
48～20	5,786	2,735	848	2,203
21	396	200	56	140
22	366	185	72	109
23	293	172	27	94
24	333	191	28	114
計	7,174	3,483	1,031	2,660

表10　追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和48年度～平成24年度

年度	病期								
	早期				進行				不明
	計	O	I	旧分類O	計	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	
48～20	3,209	492	2,662	55	2,531	2,136	341	54	46
21	287	77	210	0	107	96	7	4	2
22	255	76	179	0	107	96	9	2	4
23	187	49	138	0	101	86	9	6	5
24	223	45	178	0	101	91	9	1	9
計	4,161	739	3,367	55	2,947	2,505	375	67	66

肺がん検診

平成25年度の北海道における肺がん検診対象者は1,793,072人で、受診数は190,346人、受診率は10.6％であった。（※）平成25年度地域保健・健康増進事業報告より

このうち、当協会では、14台の検診車で107市町村（札幌51・旭川37・釧路19）を延1,617日（札幌626日・旭川609日・釧路382日）巡回したほか、各検診センター受診分とあわせて93,838人に検診を実施した。（受託実施率49.3％）これに事業所分など1,399人を加え、Ｘ線検査とＣＴ検査をあわせて、総数95,237人に実施し、99名（平成27年３月31日現在）のがんを発見した。

上記のうち、胸部ＣＴ検査に限ってみると、１台の検診車で全道25市町村、３事業所を延56日稼動したほか、各検診センターで3,908名の検診を実施し、16名（平成27年３月31日現在）のがんを発見している。

【胸部Ｘ線検査】

受診総数は91,329名で、検診車による巡回検診が65,551名（71.8％）、検診センターでの施設検診が25,778名（28.2％）であり、前年度に比べ2,840名減少した（検診車で1,993名、検診センターで847名減少、減少率3.0％）。検診車、検診センターとも受診数は年々減少傾向にある。

性・年齢階級別の受診状況をみると、60歳代女性が21,959名と最も多く、次いで70歳代女性16,180名となっている。男性は60歳代11,482名、70歳代11,764名と、男女ともに60～70歳代の受診が多い。前年度までと比較しても男女ともに受診層に変わりはみられない。

受診歴別にみると、１年前受診者は男性21,404名（62.5％）、女性33,086名（58.0％）、男女あわせて54,490名（59.7％）と全体の半分以上を占めている。前年度と比較しても、受診歴別の受診数に変わりはみられない。

要精検数は2,091名で、精検受診率は92.3％と前年度までと比較しても大きな変化はみられていない。

肺がん発見率は0.09％と変わりはない。発見がんのうち、病期別でみるとⅠ期の割合は57.5％と全体の半分以上を占めている。

受診数は年々減少傾向にあるが、検診で発見されるがんはⅠ期の割合が高く、早期にがんをみつけるためにも初回受診者の受診拡大にむけたアプローチと、継続受診の必要性を周知していくことが必要である。

【胸部ＣＴ検査】

受診数は3,908名で、検診車による巡回検診は1,881名、検診センターでの施設検診は2,027名であり、前年度と変わりはない。

要精検数は162名で、精検受診率は95.7％と横ばいで経過している。

肺がん発見率は0.41％と前年度と変わりはみられない。発見がんのうちⅠ期の割合は72.7％で、平成14年度からの総計でみてもⅠ期の割合は80.7％と、胸部X線検査に比べⅠ期の段階で多く発見されている。

ＣＴ検査では胸部Ｘ線検査と比較して早期の肺がんが多く発見される反面、要精検者や偽陽性で経過観察となる割合も高くなり、受診者への身体的、経済的負担等が生じることもあるため、メリット・デメリットを理解したうえで受診できるよう周知していくことが大切である。

（保健師　佐藤　絵里子）

表１　肺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和51年度～平成25年度

年　度	受　診　数			発　見　が　ん					
	総　　数	検診センター	検　診　車	総　　数	%	検診センター	%	検診車	%
51～20	2,312,738	379,046	1,933,692	1,656	0.07	339	0.09	1,317	0.07
21	101,200	29,015	72,185	104	0.10	28	0.10	76	0.11
22	101,577	29,918	71,659	98	0.10	31	0.10	67	0.09
23	96,279	26,975	69,304	72	0.07	14	0.05	58	0.08
24	94,169	26,625	67,544	87	0.09	23	0.09	64	0.09
25	91,329	25,778	65,551	83	0.09	19	0.07	64	0.10
計	2,797,292	517,357	2,279,935	2,100	0.08	454	0.09	1,646	0.07

表２　肺がん検診実施状況及び発見がん数（平成25年度・管轄別）

管轄	受　診　数			要　精　検　数						精検受診数		発　見　が　ん						陽性反応的中度
	総数	検診センター	検診車	総数	%	検診センター	%	検診車	%	総数	%	総数	%	検診センター	%	検診車	%	
札幌	38,612	12,988	25,624	518	1.3	150	1.2	368	1.4	493	95.2	49	0.13	10	0.08	39	0.15	9.94
旭川	33,598	8,766	24,832	1,045	3.1	205	2.3	840	3.4	971	92.9	26	0.08	6	0.07	20	0.08	2.68
釧路	19,119	4,024	15,095	528	2.8	119	3.0	409	2.7	465	88.1	8	0.04	3	0.07	5	0.03	1.72
総数	91,329	25,778	65,551	2,091	2.3	474	1.8	1,617	2.5	1,929	92.3	83	0.09	19	0.07	64	0.10	4.30

表３　肺がん検診結果（累計）

昭和51年度～平成25年度

年　度	A　受　診　数		一　次　検　診				E精検受診	精検受診率（%）
		喀痰実施数（再掲）	B異常なし	C 要 精 検	C／A%	D 有 所 見		
51～20	2,312,738	195,055	1,955,056	83,147	3.6	274,535	77,013	92.6
21	101,200	5,713	84,157	2,958	2.9	14,085	2,777	93.9
22	101,577	4,885	86,395	2,841	2.8	12,341	2,631	92.6
23	96,279	4,002	83,765	2,429	2.5	10,085	2,227	91.7
24	94,169	3,781	81,676	2,223	2.4	10,270	2,011	90.5
25	91,329	3,419	78,630	2,091	2.3	10,608	1,929	92.3
計	2,797,292	216,855	2,369,679	95,689	3.4	331,924	88,588	92.6

表４　喀痰細胞診実施結果（累計・抜粋）

昭和62年度～平成25年度

年度	喀痰検査実施数	異常なし	要精検	要経観	判定区分					肺がん	その他のがん
					A	B	C	D	E		
62～20	178,361	175,125	384	2,852	634	174,379	2,976	201	171	202	39
21	5,713	5,637	8	68	11	5,623	73	4	2	5	0
22	4,885	4,846	6	33	8	4,834	37	3	3	3	1
23	4,002	3,960	6	36	4	3,955	39	3	1	3	1
24	3,781	3,736	13	32	5	3,732	35	5	4	6	1
25	3,419	3,385	4	30	3	3,382	29	3	2	4	1
計	200,161	196,689	421	3,051	665	195,905	3,189	219	183	223	43

表５　年齢別受診数と発見がん数（累計）

昭和51年度～平成24年度

年　齢	受　診　数	発見がん	発見率（%）
～39	196,658	4	0.00
40～49	458,595	60	0.01
50～59	650,412	220	0.03
60～69	859,574	879	0.10
70～	540,724	854	0.16
総　数	2,705,963	2,017	0.07

※10歳階級表

表６　性・年齢別受診数と発見がん数（平成25年度）

年　齢	受　診　数		発見がん		発見率（%）	
性　別	男	女	男	女	男	女
～39	1,281	1,247	0	0	0.00	0.00
40～44	1,567	2,760	0	1	0.00	0.04
45～49	1,433	2,961	0	0	0.00	0.00
50～54	1,651	3,858	0	0	0.00	0.00
55～59	2,111	5,294	1	2	0.05	0.04
60～64	4,856	10,697	1	8	0.02	0.07
65～69	6,626	11,262	12	11	0.18	0.10
70～74	6,850	10,516	21	5	0.31	0.05
75～79	4,914	5,664	11	4	0.22	0.07
80～	2,946	2,835	6	0	0.20	0.00
総　数	34,235	57,094	52	31	0.15	0.05

※５歳階級表

表７　受診歴別発見がん数（平成25年度・性別）

受診歴	受　診　数		発見がん		発見率（%）	
	男	女	男	女	男	女
初　回	7,095	10,901	10	7	0.14	0.06
1 年 前	21,404	33,086	23	18	0.11	0.05
2年前以上	5,736	13,107	19	6	0.33	0.05
計	34,235	57,094	52	31	0.15	0.05

表８　追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和51年度～平成24年度

年　度	発見がん	病期						
		０Ｃ	Ｏ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	不　明
51～20	1,656	2	18	887	100	416	194	39
21	104	0	2	59	13	15	12	3
22	98	0	0	54	14	14	14	2
23	72	0	0	43	8	11	10	0
24	87	0	1	50	9	13	12	2
計	2,017	2	21	1,093	144	469	242	46

肺癌取扱い規約準ずる。

ＣＴ肺がん検診

表１　ＣＴ肺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成14年度～平成25年度

年度	受診数			要精検数						発見がん					
	総数	検診センター	検診車	総数	%	検診センター	%	検診車	%	総数	%	検診センター	%	検診車	%
14～20	8,222	6,917	1,305	646	7.9	552	8.0	94	7.2	44	0.54	33	0.48	11	0.84
21	2,498	1,640	858	120	4.8	73	4.5	47	5.5	11	0.44	6	0.37	5	0.58
22	3,261	1,890	1,371	155	4.8	102	5.4	53	3.9	15	0.46	10	0.53	5	0.36
23	3,272	1,643	1,629	130	4.0	74	4.5	56	3.4	17	0.52	11	0.67	6	0.37
24	3,907	2,076	1,831	125	3.2	81	3.9	44	2.4	22	0.56	15	0.72	7	0.38
25	3,908	2,027	1,881	162	4.1	113	5.6	49	2.6	16	0.41	12	0.59	4	0.21
計	25,068	16,193	8,875	1,338	5.3	995	6.1	343	3.9	125	0.50	87	0.54	38	0.43

表２　ＣＴ肺がん検診結果（累計）

平成14年度～平成25年度

年度	Ａ受診数		一次検診				Ｅ精検受診	精検受診率（%）
		喀痰実施数（再掲）	Ｂ異常なし	Ｃ要精検	Ｃ／Ａ%	Ｄ有所見		
14～20	8,222	1,887	2,356	646	7.9	5,220	614	95.0
21	2,498	496	427	120	4.8	1,951	111	92.5
22	3,261	546	607	155	4.8	2,499	153	98.7
23	3,272	516	563	130	4.0	2,579	123	94.6
24	3,907	546	627	125	3.2	3,155	119	95.2
25	3,908	579	525	162	4.1	3,221	155	95.7
計	25,068	4,570	5,105	1,338	5.3	18,625	1,275	95.3

注）平成18年度より政管・ドック分も含む

表３　ＣＴ肺がん検診喀痰細胞診結果（累計・抜粋）

平成14年度～平成25年度

年度	喀痰検査実施数	異常なし	要精検	要経観	判定区分					肺がん	その他のがん
					A	B	C	D	E		
14～20	1,887	1,785	5	97	7	1,817	60	2	1	1	0
21	496	489	1	6	6	483	6	1	0	0	0
22	546	542	1	3	0	541	4	1	0	1	0
23	516	509	0	7	1	509	6	0	0	0	0
24	546	541	1	4	2	539	4	1	0	0	0
25	579	575	0	4	3	572	3	1	0	0	0
計	4,570	4,441	8	121	19	4,461	83	6	1	2	0

表４　追跡調査による発見がんの病期区分（ＣＴ検診発見分・累計）

平成14年度～平成24年度

年　度	発見がん	病　期						
		ＯＣ	Ｏ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	不明
14～20	44	0	0	33	3	4	4	0
21	11	0	0	11	0	0	0	0
22	15	0	0	12	0	2	1	0
23	17	0	0	16	0	1	0	0
24	22	0	0	16	5	1	0	0
計	109	0	0	88	8	8	5	0

注）平成18年度より政管・ドック分も含む

大腸がん検診

平成25年度の北海道における大腸がん検診対象者は1,798,801人で、受診数は265,419人、受診率は14.8％であった。（※）平成25年度地域保健・健康増進事業報告より

このうち、当協会では、111市町村（札幌53・旭川40・釧路18)、122,615人に検診を実施した（受託実施率46.2％)。これに事業所分など1,601人を加え、総数124,216人に実施し、425名（平成27年３月末現在）のがんを発見した。

【大腸がん最近の動向について】

平成25年における、全道のがんによる死亡数18,453名のうち、大腸がんによる死亡数は男性1,239名（部位別順位では第３位)、女性1,150名（部位別順位では第２位）となっている。また、同年度の大腸がん年齢調整死亡率（主要部位別、人口10万対、75歳未満、性別）は、男性は全国13.4に対し全道14.0、女性は全国7.7に対し全道8.5と、全国より少し高めである。（※）北海道　がんに関する統計・調査より

【検診の受診状況】

受診総数は124,216名で、検診車による巡回検診が84,109名（67.7％、前年比2,084名減)、検診センターでの施設検診が40,107名（32.3％､前年比194名減）であり､近５年で受診総数が最も低かった。

受診歴別にみると、初回受診者（過去３年間に検診を受診していない方）は34,125名（27.5％、前年比７名減)、１～３年前受診者は90,091名（72.5％、前年比2,271名減）であった。

近５年の年齢別の傾向をみると、75歳以上では受診数が年々増加傾向である一方、55～69歳では減少傾向であり、55～59歳、65～69歳においては顕著に減少していた。40～54歳においてはクーポン事業が開始されたH23年度に一時的に増加して以降、受診数は減少傾向であった。

【精密検査の受診状況】

要精検者は9,614名（検診車6,748名、検診センター2,866名）で、要精検率は7.7％であった、精検受診数は8,323名で、精検受診率は86.6％であり、近５年で最も高かった。

【発見がんについて】

平成25年度の発見がんの総数は425名（男性240名、女性185名）で、がん発見率は0.34％、陽性反応的中度は5.11であった。全体でみると、男性のがん発見率は女性に比べ2.36倍であり、男女共に初回受診者において発見率が高い。平成24年度の追跡調査による発見がんの内訳では、早期がん272名（68.0％）であった。

【まとめ】

受診者層の高齢化に伴い、がん発見率・陽性反応的中度もわずかに上がっている。また、精検受診率は厚労省による許容値（70％）を大幅に上回り、目標値（90％）に近づいていることや、発見がんのうち早期がんの割合が増加していることから、当協会の精度管理は維持・向上していると考えられる。検診はがんの早期発見を目的としており、早期がんは初回受診者により多いため、新規受診者の開拓が必要である。また、大腸がんにおいては年に１度の受診が推奨されているが、がん罹患率が高くなる50代・60代の受診者が減少しているため、その年代をターゲットとした検診受診の勧奨が課題である。

（保健師　能田　真結）

表１　大腸がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～平成25年度

年度	受診数			発見がん					
	総数	検診センター	検診車	総数	%	検診センター	%	検診車	%
62～20	2,049,276	520,781	1,528,495	6,315	0.31	1,513	0.29	4,802	0.31
21	127,066	40,525	86,541	311	0.24	96	0.24	215	0.25
22	125,992	41,513	84,479	400	0.32	135	0.33	265	0.31
23	129,495	39,998	89,497	371	0.29	111	0.28	260	0.29
24	126,494	40,301	86,193	400	0.32	119	0.30	281	0.33
25	124,216	40,107	84,109	425	0.34	132	0.33	293	0.35
計	2,682,539	723,225	1,959,314	8,222	0.31	2,106	0.29	6,116	0.31

表２　大腸がん検診実施状況及び発見がん数（平成25年度・管轄別）

管轄	受診数			要精検数						精検受診数		発見がん						陽性反応的中度
	総数	検診センター	検診車	総数	%	検診センター	%	検診車	%	総数	%	総数	%	検診センター	%	検診車	%	
札幌	69,304	22,337	46,967	5,446	7.9	1,631	7.3	3,815	8.1	4,825	88.6	256	0.37	63	0.28	193	0.41	5.31
旭川	36,280	12,366	23,914	2,902	8.0	944	7.6	1,958	8.2	2,470	85.1	122	0.34	51	0.41	71	0.30	4.94
釧路	18,632	5,404	13,228	1,266	6.8	291	5.4	975	7.4	1,028	81.2	47	0.25	18	0.33	29	0.22	4.57
総数	124,216	40,107	84,109	9,614	7.7	2,866	7.1	6,748	8.0	8,323	86.6	425	0.34	132	0.33	293	0.35	5.11

※陽性反応的中率は経過観察からの発見がんをのぞいて算出した。

表３　大腸がん検診結果（累計）

昭和62年度～平成25年度

年度	受診数	要精検	要精検率%	精検受診数	精検受診率%	精検結果内訳					
						大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	その他	異常なし
62～20	2,049,276	227,274	11.1	192,752	84.8	6,315	2,362	178	73,393	23,766	86,738
21	127,066	9,437	7.4	8,124	86.1	311	103	9	3,680	1,203	2,818
22	125,992	9,934	7.9	8,531	85.9	400	88	9	3,919	1,244	2,871
23	129,495	8,730	6.7	7,512	86.0	371	129	7	3,479	1,120	2,406
24	126,494	8,898	7.0	7,640	85.9	400	152	11	3,643	1,161	2,273
25	124,216	9,614	7.7	8,323	86.6	425	165	12	4,147	1,260	2,314
計	2,682,539	273,887	10.2	232,882	85.0	8,222	2,999	226	92,261	29,754	99,420

表４　大腸がん検診結果（平成25年度、性・年齢別）

年齢	性別	受診数	要精検数	精検受診数	精検結果内訳					
					大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	その他	異常なし
～39	男	639	39	24	0	3	0	5	0	16
	女	1,021	59	47	0	3	0	6	8	30
	計	1,660	98	71	0	6	0	11	8	46
40～44	男	2,031	113	76	1	2	0	30	6	37
	女	5,107	261	195	4	13	0	51	31	96
	計	7,138	374	271	5	15	0	81	37	133
45～49	男	1,920	107	79	5	4	0	35	9	26
	女	5,170	288	228	4	10	0	63	40	111
	計	7,090	395	307	9	14	0	98	49	137
50～54	男	2,252	146	98	1	1	0	56	13	27
	女	6,349	329	270	11	11	1	83	47	117
	計	8,601	475	368	12	12	1	139	60	144
55～59	男	2,764	200	142	10	3	0	84	17	28
	女	7,941	423	373	7	6	1	139	67	153
	計	10,705	623	515	17	9	1	223	84	181
60～64	男	6,483	568	464	26	6	0	298	44	90
	女	14,827	892	810	26	18	2	343	140	281
	計	21,310	1,460	1,274	52	24	2	641	184	371
65～69	男	8,616	858	728	60	7	0	442	97	122
	女	14,798	1,018	930	50	17	1	441	143	278
	計	23,414	1,876	1,658	110	24	1	883	240	400
70～74	男	9,063	943	847	69	5	0	524	107	142
	女	13,618	1,025	944	44	17	1	437	145	300
	計	22,681	1,968	1,791	113	22	1	961	252	442
75～79	男	6,373	735	668	42	13	2	397	90	124
	女	7,636	662	600	24	11	2	292	101	170
	計	14,009	1,397	1,268	66	24	4	689	191	294
80～	男	3,901	562	469	26	6	2	267	74	94
	女	3,707	386	331	15	9	0	154	81	72
	計	7,608	948	800	41	15	2	421	155	166
総計	男	44,042	4,271	3,595	240	50	4	2,138	457	706
	女	80,174	5,343	4,728	185	115	8	2,009	803	1,608
	計	124,216	9,614	8,323	425	165	12	4,147	1,260	2,314

表５　年齢別受診数と発見がん数（累計）

昭和62年度～平成24年度

年　齢	受　診　数	発見がん	発見率（%）
～29	4,561	1	0.02
30～39	52,333	29	0.06
40～49	368,843	366	0.10
50～59	617,994	1,249	0.20
60～69	928,944	3,417	0.37
70～	585,648	2,734	0.47
総　数	2,558,323	7,796	0.30

※10歳階級表

表６　性・年齢別受診数と発見がん数（平成25年度）

年　齢	受　診　数		発見がん		発見率（%）	
性　別	男	女	男	女	男	女
～39	639	1,021	0	0	0.00	0.00
40～44	2,031	5,107	1	4	0.05	0.08
45～49	1,920	5,170	5	4	0.26	0.08
50～54	2,252	6,349	1	11	0.04	0.17
55～59	2,764	7,941	10	7	0.36	0.09
60～64	6,483	14,827	26	26	0.40	0.18
65～69	8,616	14,798	60	50	0.70	0.34
70～74	9,063	13,618	69	44	0.76	0.32
75～79	6,373	7,636	42	24	0.66	0.31
80～	3,901	3,707	26	15	0.67	0.40
総　数	44,042	80,174	240	185	0.54	0.23

※５歳階級表
注）発見率は一次検診受診数千対

表７　受診歴別発見がん数（平成25年度・性別）

受診歴	受　診　数		発見がん		発見率（%）	
	男	女	男	女	男	女
初　回	8,799	14,355	78	47	0.89	0.33
1 年 前	25,737	42,936	100	75	0.39	0.17
2 年 前	4,748	11,533	25	32	0.53	0.28
3 年 前	1,629	3,508	11	6	0.68	0.17
4年前以上	3,129	7,842	26	25	0.83	0.32
計	44,042	80,174	240	185	0.54	0.23

表８　追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和62年度～平成24年度

年　度	発見大腸がん	A 手術施行	%	B手術施行内訳（B／A%）						C内視鏡切除（再掲）(C／A%)	%	手術未施行	%
				早期がん	%	進行がん	%	深達度不明	%				
62～19	5,992	5,951	99.3	4,029	67.7	1,902	32.0	20	0.3	2,892	48.6	41	0.7
20	323	316	97.8	193	61.1	121	38.3	2	0.6	135	42.7	7	2.2
21	311	307	98.7	188	61.2	118	38.4	1	0.3	144	47.1	4	1.3
22	400	391	97.8	257	65.7	132	33.8	2	0.5	186	47.6	9	2.3
23	371	366	98.7	235	64.2	130	35.5	1	0.3	169	46.3	5	1.3
24	400	392	98.0	272	69.4	120	30.6	0	0.0	205	52.3	8	2.0
計	7,797	7,723	99.1	5,174	67.0	2,523	32.7	26	0.3	3,731	48.3	74	0.9

表９　発見がんにおける手術施行者の深達度（平成24年度）

手術施行	早　期		進　　行				深達度不明
	m	sm	mp	ss	se（a）	si（ai）	
392	187	85	44	59	14	3	0

大腸癌取扱い規約に準ずる。

前立腺がん検診

全道57市町村（札幌24・旭川23・釧路10）で、14,220人の検診を実施し、122人（平成27年３月24日現在）のがんを発見した。

【検診の受診状況】

対象者は基本的に50歳以上と定められているが、実施主体によっては50歳以下も対象とし、ＰＳＡ（前立腺特異抗原）の検査を実施している。

受診総数は平成18年度より年々増加している。平成25年度は、検診車での巡回検診受診者数が、前年度より減少（332名減）したが、検診センターでの施設検診受診者数が前年度より増加（479名増）だったため、受診総数は前年度より147名増加している。

【精密検査の受診状況】

要精検者は787名で、要精検率は5.5％であった。そのうち精検受診数は627名であり、精検受診率は79.7％であった。精検受診率は、例年と大きな差はなかった。

【発見がんについて】

発見がん（率）は122名（0.86％）で、検診センターと検診車では、検診センターの方の発見率が高かった。

45歳～49歳以降の階級からがんが発見されており、80歳以上の階級で、発見率はピークとなっている。

受診歴別発見がんでは、４年前以上受診者のがん発見率が最も高く、次いで初回受診者の発見率が高い。

【今後の課題】

・受診歴別発見がんの結果、平成25年度も、４年前以上受診者の発見がん率が高かった。このことから、前立腺がん検診は、間隔をあけず、毎年の受診を勧奨していく必要があるといえる。また、受診歴のない人にも、積極的に勧奨することも重要である。
・要精検者の未受診を防ぐため、実施主体との連携の強化と、効果的な精検受診勧奨に力を入れる。
・簡易的に受診できるＰＳＡ検査についての普及活動を、実施主体と連携して行っていく。

（保健師　横内　紫乃）

表１　前立腺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成９年度～平成25年度

年　度	受　診　数			発　見　が　ん					
	総　数	検診センター	検　診　車	総　数	%	検診センター	%	検　診　車	%
９～20	58,316	18,917	39,399	637	1.09	236	1.25	401	1.02
21	12,221	3,351	8,870	155	1.27	52	1.55	103	1.16
22	13,258	4,077	9,181	138	1.04	49	1.20	89	0.97
23	13,901	4,052	9,849	143	1.03	45	1.11	98	1.00
24	14,073	4,351	9,722	149	1.06	39	0.90	110	1.13
25	14,220	4,830	9,390	122	0.86	50	1.04	72	0.77
計	125,989	39,578	86,411	1,344	1.07	471	1.19	873	1.01

表２　前立腺がん検診実施状況及び発見がん数（平成25年度・管轄別）

管轄	受　診　数			要　精　検　数						発　見　が　ん						陽性反応的中度
	総　数	検診センター	検診車	総　数	%	検診センター	%	検診車	%	総　数	%	検診センター	%	検診車	%	
札幌	6,285	2,692	3,593	348	5.5	148	5.5	200	5.6	49	0.78	26	0.97	23	0.64	14.08
旭川	4,580	1,414	3,166	232	5.1	69	4.9	163	5.1	46	1.00	18	1.27	28	0.88	19.82
釧路	3,355	724	2,631	207	6.2	31	4.3	176	6.7	27	0.80	6	0.83	21	0.80	13.04
総数	14,220	4,830	9,390	787	5.5	248	5.1	539	5.7	122	0.86	50	1.04	72	0.77	15.50

表３　前立腺がん検診結果（累計）

平成９年度～平成25年度

年　度	受診数	要精検	要精検率（%）	精　検　受診数	精検受診率（%）	精　検　結　果　内　訳			
						前立腺がん	前立腺肥大	そ　の　他	異常なし
９～20	58,316	3,864	6.6	2,819	73.0	637	1,086	411	442
21	12,221	858	7.0	684	79.7	155	241	32	102
22	13,258	778	5.9	606	77.9	138	194	22	103
23	13,901	846	6.1	668	79.0	143	234	26	124
24	14,073	805	5.7	640	79.5	149	211	28	105
25	14,220	787	5.5	627	79.7	122	213	35	117
計	125,989	7,938	6.3	6,044	76.1	1,344	2,179	554	993

表４　年齢別受診数と発見がん数（累計）

平成９年度～平成24年度

年　齢	受　診　数	前立腺がん	発　見　率（%）
～39	698	0	0.00
40～49	3,896	0	0.00
50～59	20,352	50	0.25
60～69	47,056	455	0.97
70～	39,737	719	1.81
不　明	30	0	0.00
総　数	111,769	1,222	1.09

※10歳階級表

表５　年齢別受診数と発見がん数（平成25年度）

年　齢	受　診　数	発見がん	発　見　率（%）
～39	102	0	0.00
40～44	226	0	0.00
45～49	320	1	0.31
50～54	953	2	0.21
55～59	1,236	4	0.32
60～64	2,538	19	0.75
65～69	3,287	22	0.67
70～74	3,052	38	1.25
75～79	1,673	20	1.20
80～	833	16	1.92
総　数	14,220	122	0.86

※５歳階級表

表６　受診歴別発見がん数（平成25年度）

受診歴	受　診　数	発見がん	発　見　率（%）
初　回	4,545	76	1.67
１年前	7,154	22	0.31
２年前	1,528	10	0.65
３年前	553	5	0.90
４年前以上	440	9	2.05
計	14,220	122	0.86

健 康 診 査

各市町村と契約し、国民健康保険加入者、その他の健康保険組合加入者の特定健康診査ならびに後期高齢者の健康診査、市町村の一般健康診査を実施している。

巡回検診車にて全道69市町村（札幌27・旭川27・釧路15）で、49,329人の健診を実施した。

【表について】

特定健診が開始された平成20年度以降は、健康増進法施行規則第４条の２に基づき、集計項目を表２のとおりに変更した。

要指導・要医療の基準値については、厚生労働省健康局や各専門学会のガイドラインを参考に定めている。また、現在治療中の者は要医療に含めている。

貧血検査、腎機能検査については、市町村の選択項目であるため、市町村によって対象者が異なる。

【受診動向について】

平成25年度の受診総数は49,329名であり、前年度より304名減少した。検診車による巡回健診は37,728名（前年比663名減）、検診センターでの施設健診は11,601名（前年比359名増）であり、昨年度と同様に、巡回健診が減少して、施設健診が増加していた。

健診結果別にみると、「異常なし」は3,193名（6.5％）であり、「要指導」は15,606名（31.6％）、「要医療（治療継続を含む）」は30,530名（61.9％）で、「要指導」・「要医療」をあわせると約93.5％となり、ほとんどの者が、いずれかの項目で要指導以上の判定となっている。

【各項目について】

一人で２つ以上の疾患を有する者があるため、要医療と要医療内訳の計は一致しない。

各項目において、予備群以上に該当する者は、高血圧（23,288名、47.2％）、糖尿病（12,219名、24.8％）、肝疾患（疑いを含む・11,845名、24.0％）、脂質異常（8,070名、16.4％）の順に多かった。これを有病者に限定してみると、高血圧（13,222名、26.8％）、糖尿病（2,123名、4.3％）、脂質異常（1,071名、2.2％）であり、有病者は高血圧が最も多かった。糖尿病については、82.6％が予備群であり、有病者の割合は低い。また、平成25年度より糖尿病のＨｂＡ１ｃの判定がＪＤＳからＮＧＳＰに変わっていることから、糖尿病予備群が減少したものと思われる。喫煙率（総受診数における現在喫煙している者の数）は11.5％であり、昨年度より微減している。

【まとめ】

メタボリックシンドロームを予防するためには、適正なカロリー摂取、定期的な運動が必要である。北海道は移動に車を使う習慣が根強く、一日当たりの歩数が全国平均よりも低いことから、意識的にカロリーを制限し、運動する機会を持つことが重要である。

メタボリックシンドロームの人を把握し、生活習慣病や動脈硬化性疾患の発症を予防する為に、各市町村と連携しながら、健診の周知、受診勧奨に力を入れ、特定健診受診率の向上を目指したい。

（保健師　吉川　泰代）

表１　基本健康診査

平成５年度～平成19年度

年　度	受診数	異常なし	要指導	要医療	要医療内訳						
					循環器疾患	貧血	肝疾患	糖尿病	尿路系疾患	腎機能障害	その他
５～15	203,295	35,450	57,453	110,392	86,568	4,467	18,718	14,006	13,884	2,007	22,284
16	34,512	5,184	11,020	18,308	15,075	772	2,815	2,641	1,719	463	5,061
17	36,581	5,442	12,199	18,940	15,771	792	3,067	2,878	1,645	589	4,380
18	45,650	6,395	12,919	26,336	22,633	1,052	3,377	4,307	1,962	905	6,130
19	50,399	7,548	14,269	28,582	23,234	1,237	3,930	4,735	2,037	769	7,516
計	370,437	60,019	107,860	202,558	163,281	8,320	31,907	28,567	21,247	4,733	45,371

注）１人で２以上の疾患を有するものがあるため要医療と要医療内訳の計は一致しない。
　　要医療はすでに治療継続中も含む。
　　平成20年度より、健康増進法施行規則第４条の２に基づき、表２の健診診査に変わった。

表２　健康診査

平成20年度～平成25年度

年度	受診数	異常なし	要指導	要医療	要指導・要医療内訳												喫煙率（%）
					高血圧			脂質異常		糖尿病			肝疾患(疑いを含む)		貧血（注１）(疑いを含む)	腎機能障害（注１）(疑いを含む)	
						（再掲）			（再掲）		（再掲）			（再掲）			
						予備群	有病者		有病者		予備群	有病者		うちアルコール性(疑いを含む)			
20	41,796	1,735	16,516	23,545	21,675	8,831	12,844	7,017	929	32,737	30,367	2,370	9,499	5,880	2,866	1,011	13.3
21	46,672	1,842	17,582	27,248	23,230	9,322	13,908	7,516	1,075	36,573	34,111	2,462	10,481	6,466	4,066	1,082	12.3
22	49,620	2,979	17,334	29,307	23,943	10,315	13,628	8,378	1,110	30,833	28,554	2,279	11,466	6,722	3,597	1,415	11.4
23	49,529	3,010	16,646	29,873	23,733	10,148	13,585	8,242	1,093	30,493	28,095	2,398	12,302	6,773	2,890	1,521	11.3
24	49,633	2,900	16,528	30,205	23,559	10,242	13,317	8,134	1,178	29,478	27,194	2,284	12,015	6,873	2,940	1,642	11.7
25	49,329	3,193	15,606	30,530	23,288	10,066	13,222	8,070	1,071	12,219	10,096	2,123	11,845	6,505	2,806	2,013	11.5
計	286,579	15,659	100,212	170,708	139,428	58,924	80,504	47,357	6,456	172,333	158,417	13,916	67,608	39,219	19,165	8,684	－

注）１人で２以上の疾患を有するものがあるため要医療と要医療内訳の計は一致しない。
　　注１）貧血検査と腎機能検査は選択項目のため市町村により異なる。
　　平成20年度より、健康増進法施行規則第４条の２に基づき、表２の健診診査に変わった。

3　平成25年度　検診センターの精密検査成績

1　実施状況

センター別／部位別	計	平成25年度			計	平成24年度		
		札　幌	旭　川	釧　路		札　幌	旭　川	釧　路
胃	5,993	3,512	1,762	719	6,167	3,763	1,669	735
子　宮	1,595	1,218	205	172	1,392	1,025	216	151
乳	1,649	419	1,212	18	1,919	620	1,270	29
肺	1,054	292	616	146	1,049	298	588	163
大　腸	2,667	1,731	601	335	2,739	1,834	590	315
合　計	12,958	7,172	4,396	1,390	13,266	7,540	4,333	1,393

2　内　訳

ア　胃がん

センター別／部位別		計	平成25年度			計	平成24年度		
			札　幌	旭　川	釧　路		札　幌	旭　川	釧　路
検査日数		735	264	257	214	715	263	251	201
受診数		5,993	3,512	1,762	719	6,167	3,763	1,669	735
延べ内訳	X線直接撮影	171	59	11	101	219	80	33	106
	内視鏡	6,193	3,405	2,147	641	6,397	3,721	2,032	644
	組織診	1,508	1,026	390	92	1,673	1,135	462	76
発見がん		99(12)	55(4)	30(7)	14(1)	111(9)	50(7)	47(1)	14(1)

（　）はその他のがんで別掲。

イ　子宮がん（卵巣も含む）

センター別／部位別		計	平成25年度			計	平成24年度		
			札　幌	旭　川	釧　路		札　幌	旭　川	釧　路
検査日数		468	208	216	44	460	200	222	38
受診数		1,595	1,218	205	172	1,392	1,025	216	151
延べ内訳	再検査(細胞診)	2,067	1,549	288	230	1,882	1,370	287	225
	頸部組織診	371	263	76	32	295	221	52	22
	体部組織診	23	15	7	1	34	20	12	2
超音波		1,160	921	100	139	1,109	914	69	126
HPVウイルス		409	198	203	8	272	32	230	10
発見がん		57	38	18	1	170	151	16	3

ウ　乳がん

センター別 / 部位別		計	平成25年度			計	平成24年度		
			札　幌	旭　川	釧　路		札　幌	旭　川	釧　路
検査日数		541	263	261	17	555	268	258	29
受診数		1,649	419	1,212	18	1,919	620	1,270	29
延べ内訳	X線撮影	1,292	293	992	7	1,335	403	918	14
	超音波	1,731	442	1,276	13	1,956	678	1,261	17
	細胞診	157	0	157	0	168	0	168	0
	触診再検査	1,149	274	868	7	1,140	356	770	14
発見がん		131(0)	23(0)	90(0)	18(0)	171(1)	50(0)	95(0)	26(1)

（　）は甲状腺がんで別掲。

エ　肺がん

センター別 / 部位別		計	平成25年度			計	平成24年度		
			札　幌	旭　川	釧　路		札　幌	旭　川	釧　路
検査日数		266	50	110	106	265	51	109	105
受診数		1,054	292	616	146	1,049	298	588	163
延べ内訳	X線直接撮影	959	41	784	134	890	31	702	157
	CT	1,292	362	784	146	1,235	368	702	165
	喀痰細胞診	4	0	3	1	11	0	7	4
発見がん		32	20	9	3	30	18	7	5

オ　大腸がん

センター別 / 部位別		計	平成25年度			計	平成24年度		
			札　幌	旭　川	釧　路		札　幌	旭　川	釧　路
検査日数		561	184	201	176	552	204	193	155
受診数		2,667	1,731	601	335	2,739	1,834	590	315
延べ内訳	X線注腸撮影	30	7	2	21	51	22	2	27
	内視鏡	2,665	1,731	601	333	2,725	1,837	579	309
	組織診	263	50	35	178	261	44	34	183
発見がん		92	45	27	20	113	57	37	19

3 結　果

ア　胃がん精密検査

札幌がん検診センター　　昭和45年度～平成25年度

年度	精検受診数	精検結果内訳							
		胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍瘢痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
45～20	177,170	3,054(217)	19,262	9,218	44,997	2,258	18,790	12,401	67,190
21	3,869	46(11)	800	213	823	33	1,063	565	326
22	3,912	85(22)	825	187	891	33	1,061	569	261
23	3,692	52(19)	787	126	831	27	1,051	577	241
24	3,763	50(9)	787	116	818	20	1,161	604	207
25	3,512	55(16)	826	115	563	17	1,407	394	135
計	195,918	3,342(294)	23,287	9,975	48,923	2,388	24,533	15,110	68,360

旭川がん検診センター　　昭和56年度～平成25年度

年度	精検受診数	精検結果内訳							
		胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍瘢痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
56～20	73,019	1245(188)	12,085	2,933	11,907	984	17,458	3,077	23,330
21	1,543	50(13)	256	30	191	23	363	174	456
22	1,581	35(14)	215	21	193	30	384	187	516
23	1,522	52(16)	213	21	196	34	348	185	473
24	1,669	47(5)	241	34	245	29	472	162	439
25	1,762	30(3)	218	22	185	25	656	194	432
計	81,096	1,459(239)	13,228	3,061	12,917	1,125	19,681	3,979	25,646

釧路がん検診センター　　昭和60年度～平成25年度

年度	精検受診数	精検結果内訳							
		胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍瘢痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
60～20	31,193	511(67)	3,852	1,219	4,709	520	10,037	2,881	7,464
21	989	18(3)	109	29	81	4	543	183	22
22	1,068	20(1)	162	18	81	4	544	176	63
23	824	10(1)	111	16	75	2	395	154	61
24	735	14(2)	104	18	69	3	352	125	50
25	719	14(1)	87	27	50	4	368	128	41
計	35,528	587(75)	4,425	1,327	5,065	537	12,239	3,647	7,701

注）（ ）内数字は経過観察者より発見した「がん」の再掲、発見がん数には悪性リンパ腫を含む。
精検受診数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。
25年度は札幌2,638人、旭川1,179人、釧路516人。

イ （再掲）精密検査より発見した胃がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター　　平成25年度

			総数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総数			55(16)	37(10)	18(6)	49(16)	33(10)	16(6)	6(0)	4(0)	2(0)
手術施行	計		53(16)	36(10)	17(6)	47(16)	32(10)	15(6)	6(0)	4(0)	2(0)
	早期	内視鏡切除術	25(9)	17(5)	8(4)	22(9)	15(5)	7(4)	3(0)	2(0)	1(0)
		開腹手術	7(2)	3(1)	4(1)	7(2)	3(1)	4(1)	0(0)	0(0)	0(0)
	進行		14(3)	10(3)	4(0)	13(3)	10(3)	3(0)	1(0)	0(0)	1(0)
	調査中		7(2)	6(1)	1(1)	5(2)	4(1)	1(1)	2(0)	2(0)	0(0)
手術未施行			2(0)	1(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)

旭川がん検診センター　　平成25年度

			総数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総数			30(3)	21(2)	9(1)	20(1)	13(0)	7(1)	10(2)	8(2)	2(0)
手術施行	計		30(3)	21(2)	9(1)	20(1)	13(0)	7(1)	10(2)	8(2)	2(0)
	早期	内視鏡切除術	21(3)	14(2)	7(1)	15(1)	9(0)	6(1)	6(2)	5(2)	1(0)
		開腹手術	6(0)	4(0)	2(0)	4(0)	3(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)
	進行		2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	2(0)	0(0)
	調査中		1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

釧路がん検診センター　　平成25年度

			総数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総数			14(1)	10(1)	4(0)	10(1)	7(1)	3(0)	4(0)	3(0)	1(0)
手術施行	計		13(1)	9(1)	4(0)	9(1)	6(1)	3(0)	4(0)	3(0)	1(0)
	早期	内視鏡切除術	8(1)	6(1)	2(0)	6(1)	4(1)	2(0)	2(0)	2(0)	0(0)
		開腹手術	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進行		4(0)	3(0)	1(0)	3(0)	2(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	調査中		1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)
手術未施行			1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

注）発見胃がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。
（ ）内数字は経過観察者より発見した胃がん再掲。
※その他は一次検診を受けずに直接精検を希望した方や、医療機関からの紹介患者及び他機関の一次検診を受け、要精検となった方など。

ウ　大腸がん精密検査

札幌がん検診センター　　昭和56年度～平成25年度

年　度	精検受診数	精検結果内訳					
		大腸がん	炎　症	潰　瘍	ポリープ	その他	異常なし
56～20	48,692	1,576(17)	423	41	20,728	2,149	23,775
21	1,894	48(0)	16	6	1,115	97	612
22	2,154	94(5)	13	3	1,178	115	751
23	1,965	61(5)	18	4	1,081	85	716
24	1,834	57(2)	21	3	1,067	99	587
25	1,731	45(4)	21	2	1,043	152	468
計	58,270	1,881(33)	512	59	26,212	2,697	26,909

旭川がん検診センター　　昭和56年度～平成25年度

年　度	精検受診数	精検結果内訳					
		大腸がん	炎　症	潰　瘍	ポリープ	その他	異常なし
56～20	15,768	589(31)	214	3	9,224	1,024	4,714
21	785	18(2)	15	1	511	72	168
22	769	26(2)	6	0	501	86	150
23	546	28(0)	6	0	353	93	66
24	590	37(1)	6	0	359	116	72
25	601	27(1)	9	0	395	75	95
計	19,059	725(37)	256	4	11,343	1,466	5,265

釧路がん検診センター　　昭和60年度～平成25年度

年度	精検受診数	精検結果内訳					
		大腸がん	炎　症	潰　瘍	ポリープ	その他	異常なし
60～20	10,306	298(10)	43	12	6,031	191	3,731
21	599	14(2)	1	0	407	6	171
22	482	16(1)	1	0	277	3	185
23	373	11(3)	2	0	209	0	151
24	315	19(1)	2	0	178	0	116
25	335	20(0)	1	0	176	3	135
計	12,410	378(17)	50	12	7,278	203	4,489

注）精検数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。
　　25年度には、札幌692人、旭川252人、釧路175人。
　（　）内数字は経過観察者より発見した大腸がん再掲。

エ （再掲）精密検査より発見した大腸がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター　　平成25年度

			総数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総数			45(4)	25(1)	20(3)	40(4)	23(1)	17(3)	5(0)	2(0)	3(0)
手術施行	計		45(4)	25(1)	20(3)	40(4)	23(1)	17(3)	5(0)	2(0)	3(0)
	早期	内視鏡切除術	27(2)	14(0)	13(2)	23(2)	13(0)	10(2)	4(0)	1(0)	3(0)
		開腹手術	5(1)	2(0)	3(1)	5(1)	2(0)	3(1)	0(0)	0(0)	0(0)
	進行		13(1)	9(1)	4(0)	12(1)	8(1)	4(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	調査中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

旭川がん検診センター　　平成25年度

			総数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総数			27(1)	18(1)	9(0)	25(0)	16(0)	9(0)	2(1)	2(1)	0(0)
手術施行	計		27(1)	18(1)	9(0)	25(0)	16(0)	9(0)	2(1)	2(1)	0(0)
	早期	内視鏡切除術	16(1)	10(1)	6(0)	14(0)	8(0)	6(0)	2(1)	2(1)	0(0)
		開腹手術	3(0)	2(0)	1(0)	3(0)	2(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進行		7(0)	5(0)	2(0)	7(0)	5(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調査中		1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

釧路がん検診センター　　平成25年度

			総数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総数			20(0)	13(0)	7(0)	16(0)	9(0)	7(0)	4(0)	4(0)	0(0)
手術施行	計		19(0)	12(0)	7(0)	15(0)	8(0)	7(0)	4(0)	4(0)	0(0)
	早期	内視鏡切除術	11(0)	7(0)	4(0)	9(0)	5(0)	4(0)	2(0)	2(0)	0(0)
		開腹手術	2(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	進行		6(0)	4(0)	2(0)	5(0)	3(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	調査中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

注）発見大腸がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。
※その他の内訳は一次検診を受けずに直接精密検査を受けた方や、他機関の一次検診受診の後、精密検査を受けた方及び医療機関からの紹介患者など。

オ　子宮がん精密検査（経過観察者を含む）

平成25年度

年齢	受診数	細胞診結果										細胞診後指示				精検の結果								精検後
		扁平上皮系						腺細胞系																
		NILM	ASC-US	L-SIL	ASC-H	H-SIL	SCC	AGC	AIS	ADC	other malig	異常なし	経過観察	頸部精検	体部精検	良性	異型上皮	上皮内がん	浸潤がん	腺がん	体部がん	他のがん	擬陽性	経過観察
総数																								
総　数	2,068	1,128	334	231	79	268	6	22	0	0	0	86	1,582	377	23	53	323	36	3	5	10	0	0	263
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	37	11	14	10	0	2	0	0	0	0	0	1	22	14	0	0	14	0	0	0	0	0	0	14
25～29	74	30	14	15	1	14	0	0	0	0	0	0	49	23	0	0	21	4	0	0	0	0	0	12
30～34	130	47	19	31	6	23	2	2	0	0	0	3	79	49	0	1	45	8	1	0	0	0	0	29
35～39	165	59	17	36	11	39	1	2	0	0	0	2	114	49	0	3	45	7	0	0	0	0	0	28
40～44	255	91	56	49	12	44	1	2	0	0	0	3	170	77	0	6	66	7	1	0	0	0	0	50
45～49	244	119	57	33	8	26	0	1	0	0	0	11	190	41	0	2	39	4	0	0	0	0	0	33
50～54	274	154	47	22	12	33	0	6	0	0	0	18	211	43	7	11	37	2	0	1	4	0	0	36
55～59	207	149	26	10	5	15	0	2	0	0	0	10	176	15	3	6	9	1	0	1	2	0	0	9
60～64	216	157	23	4	9	17	1	4	0	0	0	14	176	27	2	6	20	3	0	2	1	0	0	15
65～69	197	152	18	5	4	19	0	0	0	0	0	15	162	14	7	7	11	0	0	0	2	0	0	17
70～74	170	96	29	10	6	25	1	3	0	0	0	5	146	19	1	6	12	0	1	1	0	0	0	16
75～79	79	53	10	4	4	8	0	0	0	0	0	4	69	5	2	5	3	0	0	0	0	0	0	4
80～	20	10	4	2	1	3	0	0	0	0	0	0	18	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0
札幌がん検診センター																								
総　数	1,550	857	273	176	50	177	6	11	0	0	0	52	1,217	266	15	40	239	22	2	4	7	0	0	204
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	32	10	12	9	0	1	0	0	0	0	0	1	18	13	0	0	13	0	0	0	0	0	0	13
25～29	40	11	9	10	1	9	0	0	0	0	0	0	24	16	0	0	16	1	0	0	0	0	0	10
30～34	96	28	15	29	5	17	2	0	0	0	0	1	56	39	0	1	37	7	0	0	0	0	0	27
35～39	89	35	12	13	8	19	1	1	0	0	0	1	61	27	0	2	25	6	0	0	0	0	0	17
40～44	178	56	47	40	5	29	1	0	0	0	0	2	124	52	0	4	49	3	1	0	0	0	0	40
45～49	189	86	49	30	6	17	0	1	0	0	0	5	153	31	0	1	32	1	0	0	0	0	0	27
50～54	199	117	39	16	4	20	0	3	0	0	0	10	154	30	5	8	26	2	0	1	3	0	0	25
55～59	164	120	21	9	3	10	0	1	0	0	0	7	147	8	2	5	6	0	0	0	1	0	0	7
60～64	173	129	18	2	6	14	1	3	0	0	0	8	142	22	1	5	16	2	0	2	1	0	0	11
65～69	157	124	15	5	4	9	0	0	0	0	0	11	135	8	3	3	8	0	0	0	1	0	0	10
70～74	147	85	26	9	3	21	1	2	0	0	0	3	128	15	1	6	8	0	1	1	0	0	0	13
75～79	66	46	6	2	4	8	0	0	0	0	0	3	57	4	2	5	2	0	0	0	0	0	0	4
80～	20	10	4	2	1	3	0	0	0	0	0	0	18	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0
旭川がん検診センター																								
総　数	288	117	38	33	24	69	0	7	0	0	0	33	172	76	7	7	58	13	1	1	3	0	0	41
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	3	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
25～29	26	12	4	5	0	5	0	0	0	0	0	0	18	6	0	0	4	2	0	0	0	0	0	2
30～34	19	10	1	0	1	5	0	2	0	0	0	2	9	9	0	0	7	1	1	0	0	0	0	2
35～39	45	12	3	12	2	15	0	1	0	0	0	1	31	13	0	0	12	1	0	0	0	0	0	9
40～44	36	11	2	5	7	10	0	1	0	0	0	1	15	15	0	1	9	4	0	0	0	0	0	3
45～49	34	15	7	2	2	8	0	0	0	0	0	6	17	9	0	1	6	3	0	0	0	0	0	6
50～54	42	16	6	4	6	10	0	0	0	0	0	8	29	8	2	1	8	0	0	0	1	0	0	6
55～59	17	12	1	0	0	3	0	1	0	0	0	3	6	4	1	0	2	1	0	1	1	0	0	1
60～64	18	5	4	2	3	2	0	1	0	0	0	6	11	4	0	0	3	1	0	0	0	0	0	2
65～69	24	16	3	0	0	6	0	0	0	0	0	3	15	3	4	4	2	0	0	0	1	0	0	6
70～74	17	6	2	1	3	4	0	1	0	0	0	2	12	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	3
75～79	7	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
釧路がん検診センター																								
総　数	230	154	23	22	5	22	0	4	0	0	0	1	193	35	1	6	26	1	0	0	0	0	0	18
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25～29	8	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
30～34	15	9	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	14	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
35～39	31	12	2	11	1	5	0	0	0	0	0	0	22	9	0	1	8	0	0	0	0	0	0	2
40～44	41	24	7	4	0	5	0	1	0	0	0	0	31	10	0	1	8	0	0	0	0	0	0	7
45～49	21	18	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	20	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
50～54	33	21	2	2	2	3	0	3	0	0	0	0	28	5	0	2	3	0	0	0	0	0	0	5
55～59	26	17	4	1	2	2	0	0	0	0	0	0	23	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
60～64	25	23	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	23	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2
65～69	16	12	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	12	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
70～74	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
80～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注）　頸部と体部の両方精検指示があったもの、０名。
　　精検指示と結果は他施設で実施した方がいるため一致しない。

4　医療機関からの受託検査

昭和45年度～平成25年度

年　度	受託総数	婦人科	呼吸器	胸　水	腹　水	尿	乳　房	胃	その他	組　織
				総		数				
45～20	803,773	650,199	77,647	4,855	5,507	27,999	5,688	125	8,827	22,926
	(14,914)	(3,466)	(3,822)	(1,162)	(1,384)	(1,510)	(848)	(8)	(1,562)	(1,152)
21	12,700	10,102	735	148	93	574	419	4	425	200
	(753)	(48)	(251)	(69)	(58)	(70)	(88)	0	(158)	(11)
22	11,173	8,878	582	109	71	586	407	5	386	149
	(797)	(41)	(223)	(72)	(48)	(95)	(116)	0	(194)	(8)
23	8,915	7,250	394	78	71	449	252	2	292	127
	(650)	(27)	(207)	(47)	(49)	(60)	(75)	0	(177)	(8)
24	7,803	6,852	162	31	27	355	156	0	75	145
	(185)	(27)	(28)	(13)	(18)	(25)	(37)	0	(33)	(4)
25	7,296	6,592	117	13	10	288	144	0	10	122
	(80)	(19)	(1)	(4)	(5)	(17)	(32)	0	(1)	(1)
計	851,660	689,873	79,637	5,234	5,779	30,251	7,066	136	10,015	23,669
	(17,379)	(3,628)	(4,532)	(1,367)	(1,562)	(1,777)	(1,196)	(8)	(2,125)	(1,184)
				札		幌				
45～20	428,070	351,722	35,392	2,087	2,888	9,239	2,765	96	4,710	19,171
	(10,087)	(2,353)	(2,254)	(804)	(911)	(976)	(616)	(6)	(1,263)	(904)
21	3,676	2,257	318	95	80	393	123	4	368	38
	(668)	(35)	(219)	(64)	(58)	(70)	(59)	0	(157)	(6)
22	3,486	2,069	362	77	64	382	124	5	366	37
	(726)	(23)	(222)	(64)	(47)	(93)	(79)	0	(194)	(4)
23	2,898	1,692	277	72	68	381	82	2	290	34
	(608)	(20)	(205)	(47)	(49)	(60)	(47)	0	(177)	(3)
24	2,187	1,626	68	26	26	295	17	0	73	56
	(140)	(17)	(28)	(13)	(17)	(25)	(6)	0	(33)	(1)
25	1,733	1,410	27	7	6	228	4	0	10	41
	(37)	(10)	0	(4)	(4)	(17)	0	0	(1)	(1)
計	442,050	360,776	36,444	2,364	3,132	10,918	3,115	107	5,817	19,377
	(12,266)	(2,458)	(2,928)	(996)	(1,086)	(1,241)	(807)	(6)	(1,825)	(919)

注）（　）内数字は陽性の再掲

昭和45年度～平成25年度

年　度	受託総数	婦人科	呼吸器	胸　水	腹　水	尿	乳　房	胃	その他	組　織
				旭		川				
56～20	311,678	241,022	39,250	2,633	2,383	17,630	2,780	21	3,777	2,182
	(4,176)	(822)	(1,457)	(329)	(427)	(481)	(222)	(2)	(276)	(160)
21	6,765	5,720	411	53	12	181	296	0	56	36
	(78)	(10)	(32)	(5)	0	0	(29)	0	(1)	(1)
22	6,471	5,693	217	32	7	204	283	0	19	16
	(64)	(15)	(1)	(8)	(1)	(2)	(37)	0	0	0
23	4,935	4,548	114	6	3	68	170	0	2	24
	(37)	(6)	(2)	0	0	0	(28)	0	0	(1)
24	4,533	4,200	94	5	1	60	139	0	2	32
	(42)	(8)	0	0	(1)	0	(31)	0	0	(2)
25	4,502	4,179	90	6	4	60	140	0	0	23
	(42)	(8)	(1)	0	(1)	0	(32)	0	0	0
計	338,884	265,362	40,176	2,735	2,410	18,203	3,808	21	3,856	2,313
	(4,439)	(869)	(1,493)	(342)	(430)	(483)	(379)	(2)	(277)	(164)
				釧		路				
60～20	64,025	57,455	3,005	135	236	1,130	143	8	340	1,573
	(651)	(291)	(111)	(29)	(46)	(53)	(10)	0	(23)	(88)
21	2,259	2,125	6	0	1	0	0	0	1	126
	(7)	(3)	0	0	0	0	0	0	0	(4)
22	1,216	1,116	3	0	0	0	0	0	1	96
	(7)	(3)	0	0	0	0	0	0	0	(4)
23	1,082	1,010	3	0	0	0	0	0	0	69
	(5)	(1)	0	0	0	0	0	0	0	(4)
24	1,083	1,026	0	0	0	0	0	0	0	57
	(3)	(2)	0	0	0	0	0	0	0	(1)
25	1,061	1,003	0	0	0	0	0	0	0	58
	(1)	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0
計	70,726	63,735	3,017	135	237	1,130	143	8	342	1,979
	(674)	(301)	(111)	(29)	(46)	(53)	(10)	0	(23)	(101)

注）（　）内数字は陽性の再掲。

4　発見がんの実測生存率

表１　発見胃がんの実測生存率

		５年	10年	15年
早期	M	99.1	97.8	96.6
	SM	96.4	94.2	92.6
	M＋SM	97.9	96.2	94.9
進行	pm	87.5	83.7	80.4
	PM	65.3	58.6	58.3
	S	40.3	34.3	32.8
	MP～S	63.6	57.9	56.3
M～Sの計		85.5	82.3	80.8
早　期　計		97.9	96.2	94.9
進　行　計		61.6	56.1	54.5
区分不能		53.2	35.5	35.5
総　　計		81.8	78.4	76.9

対象：昭和55年から平成17年度までの発見胃がん患者　7,705例

M	2,604例
SM	2,007例
MP	774例
SS	961例
S	890例
早期	4,613例（深達度不明２例含む）
進行	2,725例（深達度不明100例含む）
区分不能	14例
OP未施行	353例

算定期間：平成19年３月31日現在で生存状況を追求調査により把握。

計算定法：生命表方式

注：ＯＰ後１年以内の者については、調査の対象としない。

表２　発見子宮がんの実測生存率

		５年	10年	15年
早期	O	100.0	99.8	99.8
	Ⅰa	99.7	99.4	99.3
	計	99.9	99.7	99.7
進行	Ⅰb	97.5	96.0	96.0
	Ⅱ	88.4	85.4	85.4
	Ⅲ～	70.2	65.7	65.7
	計	94.2	92.3	92.3
区分不能		81.8	81.8	81.8
頚がん計		99.1	98.7	98.6
その他のがん		91.5	89.7	89.7
総計		97.4	96.6	96.4

対象：昭和41年度から17年度までの発見子宮がん患者　5,792例

O　期	3,279例
Ⅰa期	1,168例
Ⅰb期	458例
Ⅱ　期	141例
Ⅲ　期	27例
区分不能	33例
その他のがん	452例
ＯＰ未施行	234例

算定期間：平成19年３月31日現在で生存状況を追求調査により把握。

計算方法：生命表方式

注：ＯＰ後１年以内の者については、調査の対象としていない。

表３　発見乳がん実測生存率

		５年	10年	15年
早期	ＴＩＳ	100.0	100.0	100.0
	0	100.0	100.0	100.0
	Ⅰ	98.3	96.5	95.5
	計	98.6	97.0	96.1
進行	Ⅱ	93.7	86.5	82.8
	Ⅲ	77.5	65.9	61.0
	Ⅲａ	80.5	70.3	66.0
	Ⅲｂ	71.1	54.2	48.8
	Ⅳ	40.5	36.7	－
	計	90.4	82.5	78.5
総　　計		95.1	90.8	88.9

対象：昭和53年から平成17年度までの発見乳がん患者　4,716例

ＴＩＳ	345例
0	60例
Ⅰ	2,087例
Ⅱ	1,838例
Ⅲ	46例
Ⅲａ	172例
Ⅲｂ	76例
Ⅳ	45例
区分不明	６例
ＯＰ未施行	41例

算定期間：平成19年３月31日現在で生存状況を追求調査により把握。

計算方法：生命表方式

注：ＯＰ後１年以内の者については、調査の対象としない。

表４　発見肺がんの実測生存率

			３年	５年	10年	15年
手術施行	病期	0	100.0	87.5	87.5	87.5
		Ⅰ	93.8	87.6	79.6	71.6
		Ⅱ	66.6	52.7	34.8	30.5
		ⅢA	52.0	35.7	21.9	21.9
		ⅢB	35.7	17.8	6.0	－
		Ⅳ	43.3	33.9	22.6	22.6
	組織型	扁平	78.6	67.6	56.2	52.3
		腺	85.9	77.1	66.2	61.9
		小細	44.3	44.3	37.5	37.5
		大細	57.0	52.7	42.1	24.6
総　　計			64.6	55.3	46.4	41.3

対象：昭和51年度から平成17年度までの発見肺がん患者　1,355例

0	10例	組織型扁平上皮	229例
Ⅰ	646例	腺	643例
Ⅱ	70例	小細胞	24例
ⅢA	137例	大細胞	31例
ⅢB	26例	その他	18例
Ⅳ	29例		
不明	27例		
ＯＰ未施行	410例		

算定時期：平成19年３月31日現在で生存状況を追求調査により把握。

計算方法：生命表方式

注：ＯＰ後１年以内の者については、調査の対象としていない。

表５　発見大腸がん実測生存率

		５年	10年	15年
早期	ｍ	99.8	98.8	98.6
	ＣＩＡ（再掲）	99.8	98.8	98.6
	ｓｍ	98.2	94.9	94.1
	計	99.3	97.7	97.3
進行期	ｍｐ	95.6	92.3	91.5
	ｓｓ・ａ１	88.9	82.8	82.1
	ｓｅ・ａ２	61.8	58.4	57.4
	ｓｉ・ａｉ	53.8	53.8	53.8
	計	85.6	81.0	80.2
区分不能		52.5	52.5	－
総　　計		94.6	92.2	91.6

対象：昭和62年から平成16年度までの発見大腸がん患者　5,218例

ｍ	2,528例
（再掲ＣＩＡ	1,794例）
ｓｍ	992例
ｍｐ	495例
ｓｓ・ａ１	848例
ｓｅ・ａ２	247例
ｓｉ・ａｉ	59例
区分不能	14例
ＯＰ未施行	35例

算定期間：平成19年３月31日現在で生存状況を追求調査により把握。

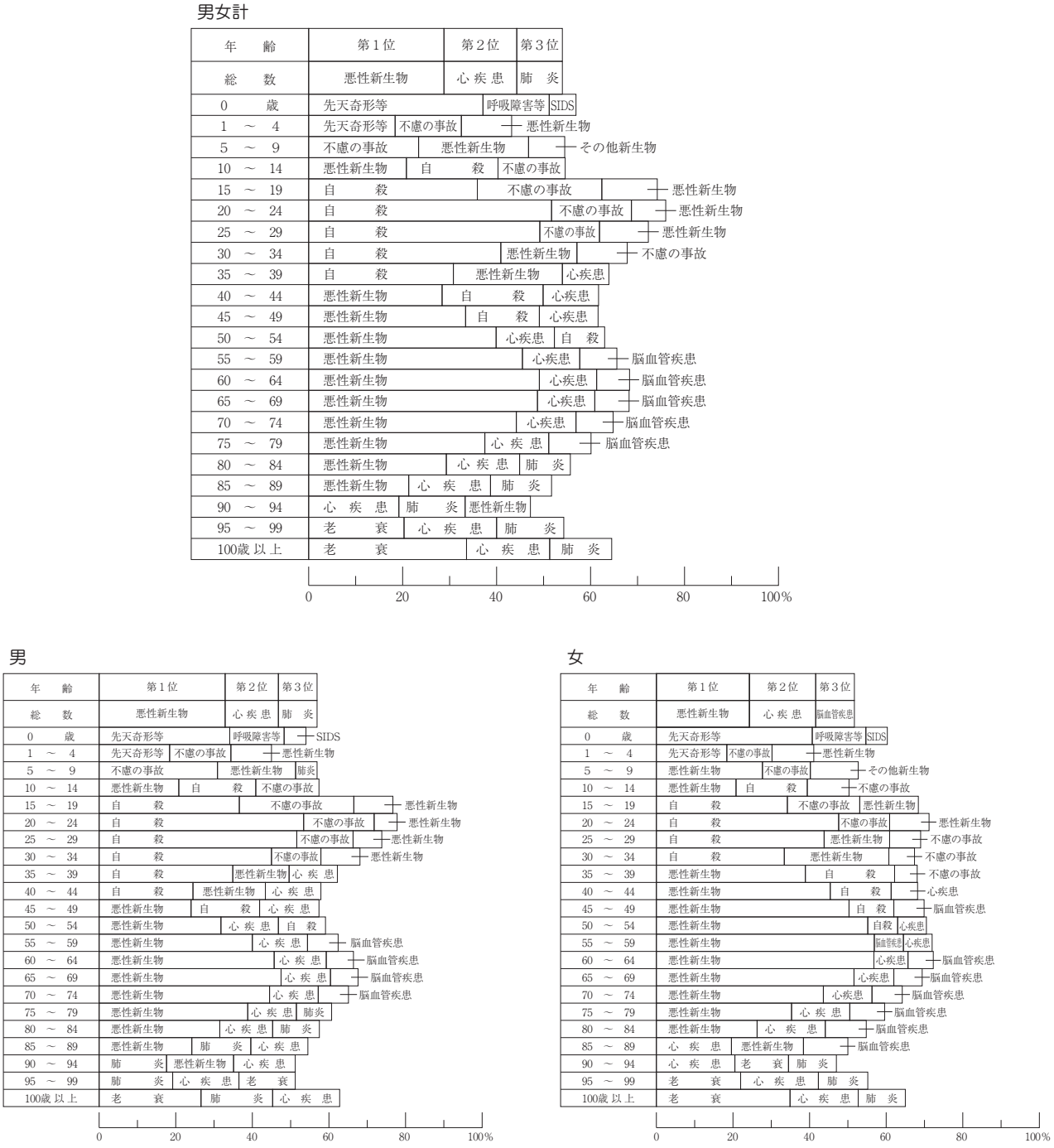
計算定法：生命表方式

注：ＯＰ後１年以内の者については、調査の対象としない。

【参 考 資 料】

1　がん対策の背景

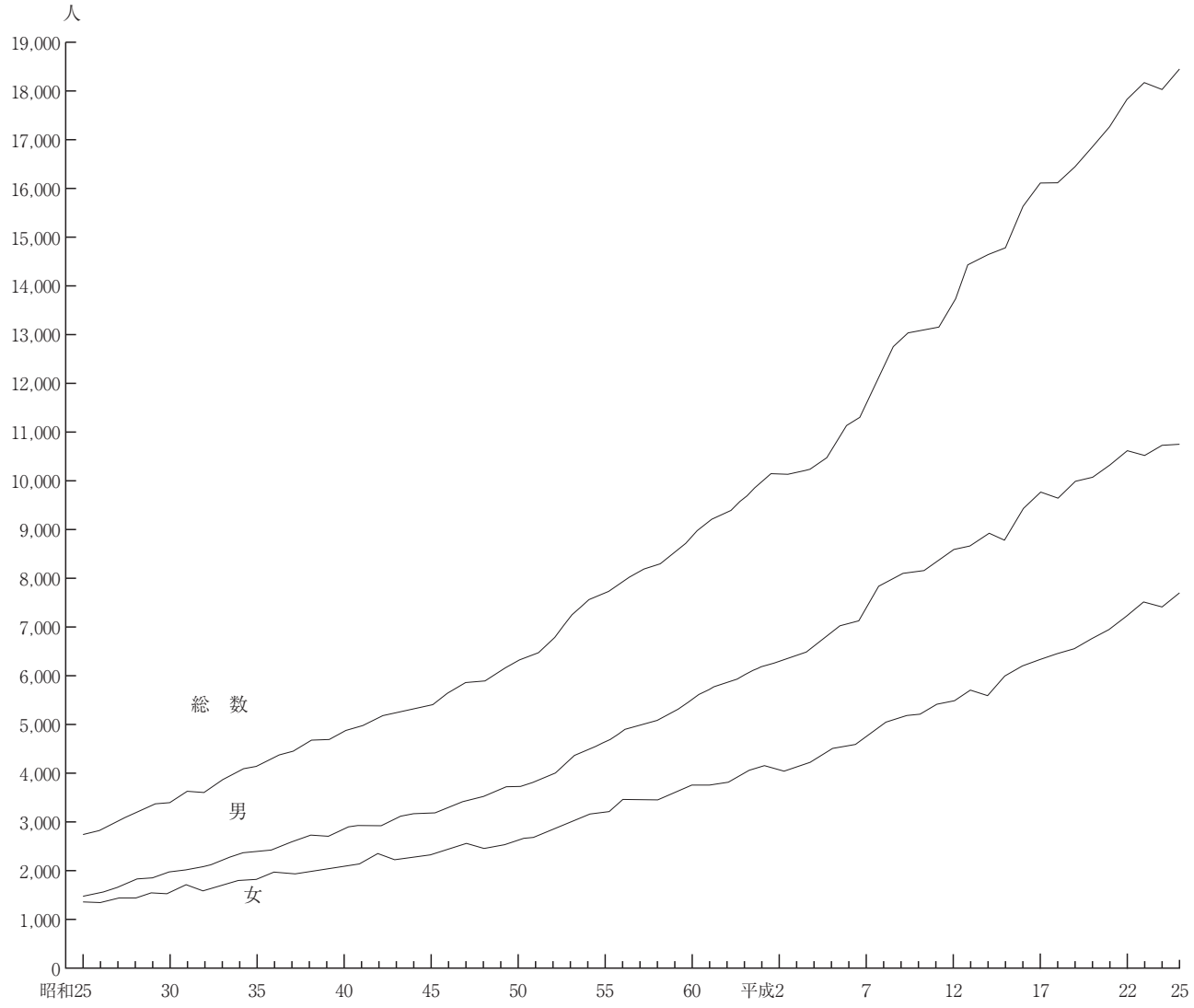
図１　性・年齢別にみた死因順位
平成25年　全国



資料：人口動態統計　確定数・死亡・2013年（厚生労働省）

がんによる死亡は、全ての死因において昭和58年以降不動の一位であり、その数・割合ともに増え続けている。40代から死因の一位となるが、女性においては子宮頸がんや乳がんなど比較的若年で発症するがんの影響を受け、30代後半から一位となっている。

図２　がん死亡者数の年次推移
北海道



北海道におけるがん死亡者数
平成25年

男　性	18,453
女　性	10,751
総　数	7,702

本道においても、全国と同様にがんによる死亡者数は増え続けている。

原因は、社会全体の高齢化によりがん罹患者数自体が増えていることがあげられるが、それにもかかわらず、がん検診の受診率は20％前後と低迷しており、がんがある程度進行してから見つかる方がいまだに多いことも一因となっている。

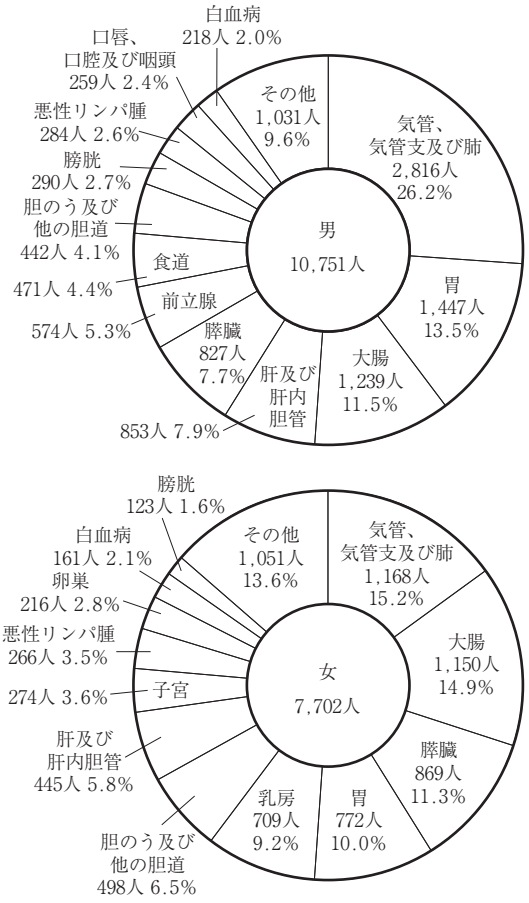
表１　部位別がん死亡者数・死亡率の年次推移

北　海　道

部　　位	死亡者数					死亡率（人口10万対、乳房、子宮は女子人口10万対）				
	昭　40	昭　60	平　17	平25	全国25	昭40	昭60	平17	平25	全国25
総　　数	4,863	9,096	16,133	18,453	364,872	94.0	159.9	287.8	339.8	286.6
食　　道	181	357	597	579	11,543	3.5	6.3	10.7	10.7	9.1
胃	1,982	2,147	2,240	2,219	48,632	38.3	37.8	40.0	40.9	38.2
大　　腸	268	928	2,186	2,389	47,654	5.2	16.3	39.0	44.0	37.4
肝　　臓	357	832	1,328	1,298	30,175	6.9	14.6	23.7	23.9	23.7
膵　　臓	181	624	1,357	1,696	30,672	3.5	11.0	24.2	31.2	24.1
気管・気管支・肺	443	1,455	3,205	3,984	72,734	8.6	25.6	57.2	73.4	57.1
乳　　房	98	247	530	712	13,230	3.8	8.5	18.0	24.8	20.2
子　　宮	311	231	229	274	6,033	12.0	7.9	7.8	9.5	9.2
白　血　病	187	256	314	379	8,133	3.6	4.5	5.6	7.0	6.4
そ　の　他	855	2,019	4,147	4,923	96,066	16.5	35.5	74.0	90.6	75.5

資料：人口動態統計確定数　率の算出に用いた人口は国勢調査人口。平成25年は、総務省統計局推計の10月１日現在推計日本人人口。

図３　がん死亡者の部位別割合
平成25年　北海道



全国の部位別順位は下記の通りである。

順位	1	2	3	4	5
男　性	肺	胃	大	肝	膵
女　性	大	肺	胃	膵	乳

平成25年人口動態統計によるがん死亡データより

本道の特徴としては、

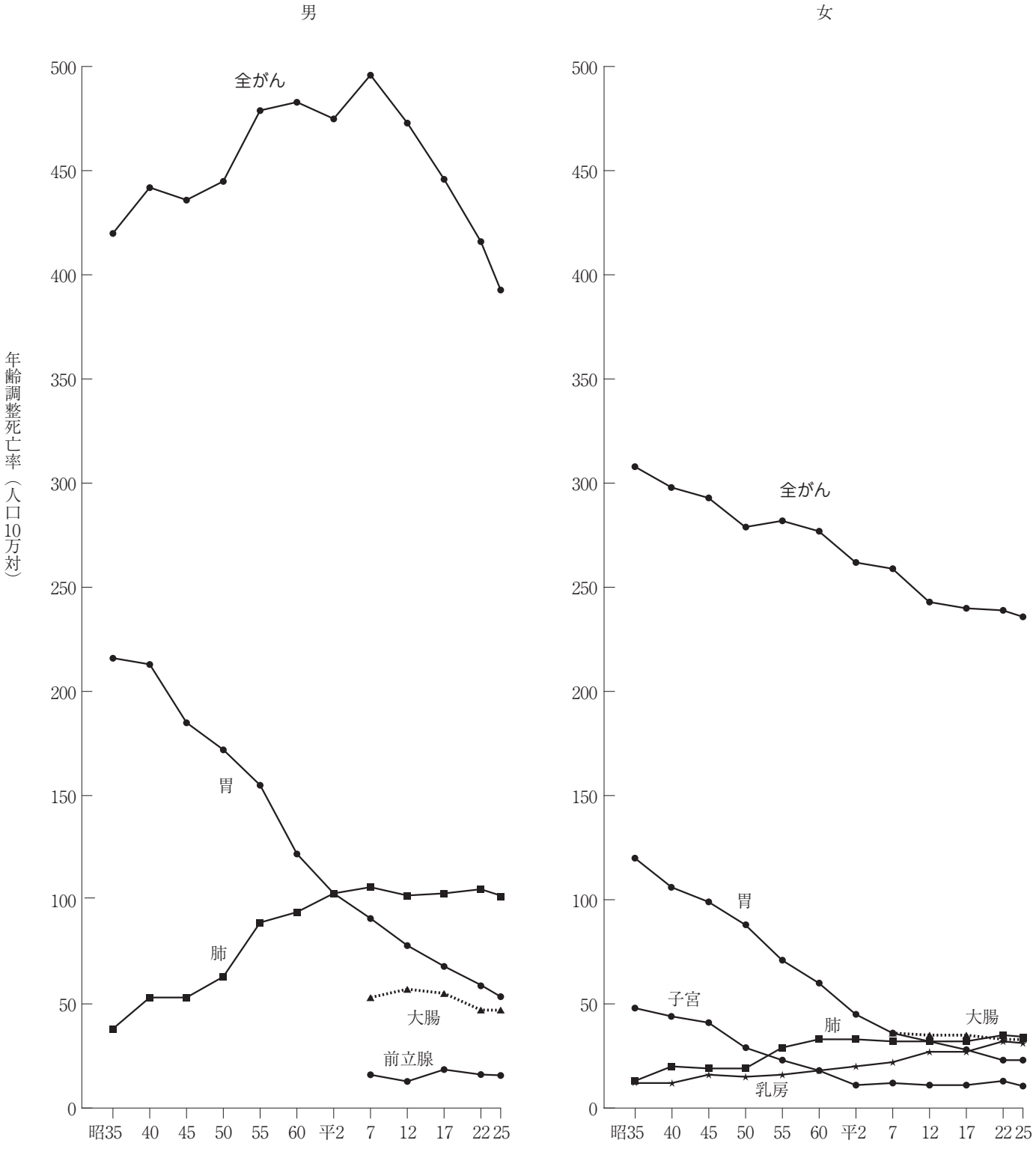
・男女ともに肺がんが１位であること

・肺・膵蔵などの難治性がんの割合が高いこと

があげられる。

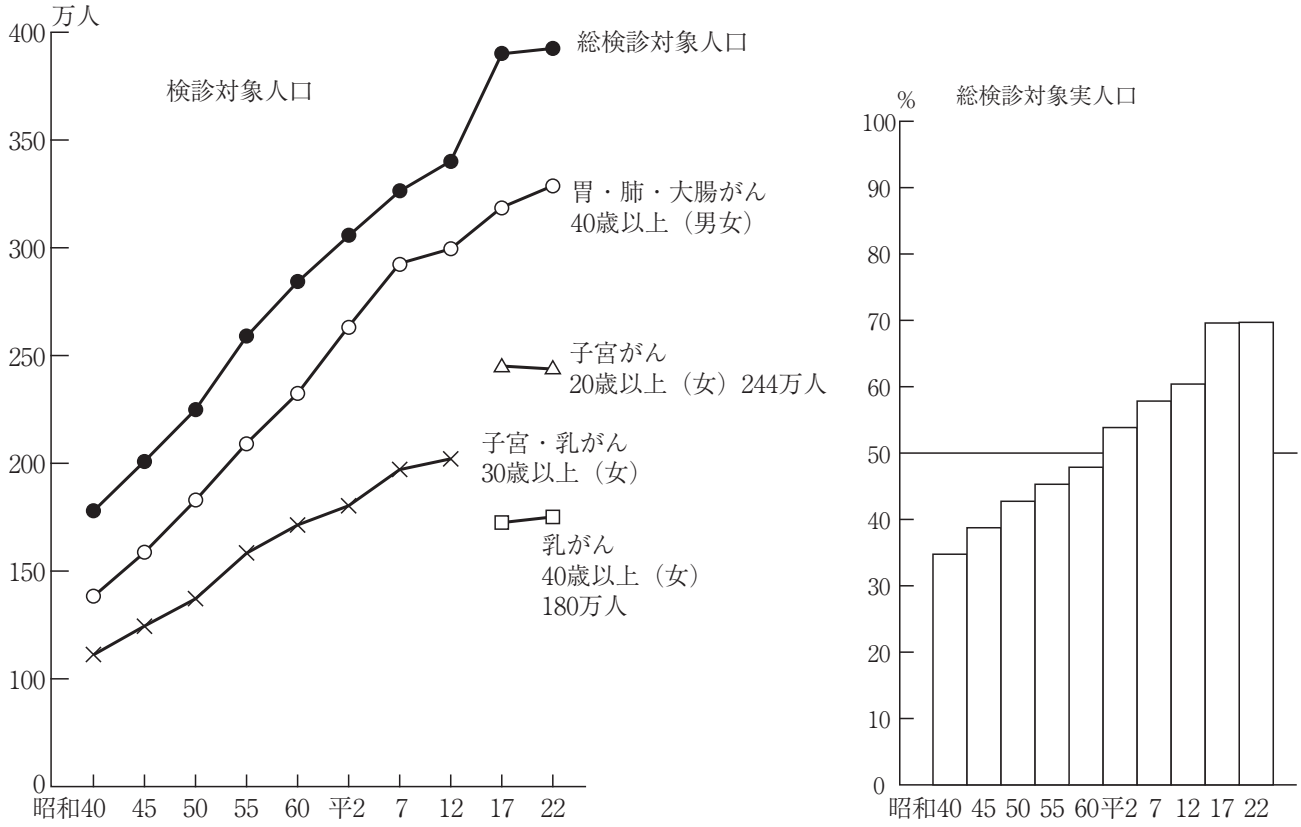
詳しい原因は不明だが、男女ともに喫煙率が高いことなども影響していると考えられる。

図４　がん年齢調整死亡率の年次推移
40歳以上合計　北海道

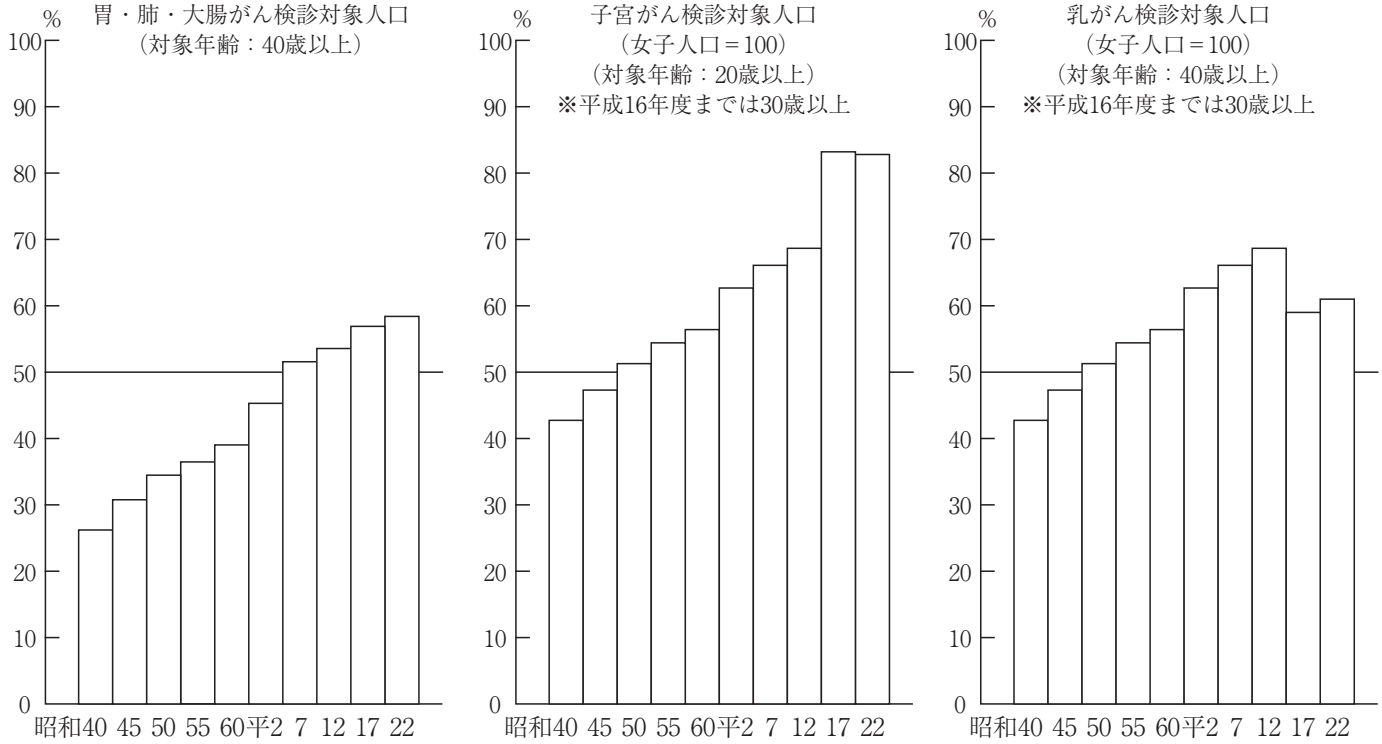


注　：率は、人口構成の変動による影響を取除いて厳密な比較を行うため、昭和60年北海道・性・年齢（５歳階級）別人口を基準人口として、直接法により算出した率（人口10万対）である。
資料：計算の基礎となる死亡数は人口動態統計（厚生労働省）

図５　がん検診対象年齢人口の年次推移
北海道



総人口に占める割合



資料：国勢調査

2　北海道対がん協会

2－1　概要

法　人　名	公益財団法人北海道対がん協会
代 表 者 名	会長　長　瀬　　清
所　在　地	北海道札幌市東区北26条東14丁目１－15
電 話 番 号	０１１－７４８－５５１１
設 立 時 期	昭和４年９月13日
従 業 員 数	254名

２－２　目的及び事業

公益財団法人北海道対がん協会は、がんの予防、治療及び研究に関し必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の健全な発展を実現し、道民の健康の保持増進に寄与することを目的としています。

このほか、生活習慣病の予防、治療及び研究に関し必要な事業を行なうことができます。

上記の目的を達成するため、次の事業を行います。

⑴　がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する知識の普及啓発

⑵　がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する相談及び指導

⑶　がん検診及び生活習慣病検診の実施及び推進

⑷　がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する調査・研究

⑸　がん及び生活習慣病の予防、治療及び研究を行なう機関の設置

⑹　がん及び生活習慣病の予防を推進する団体との連携及び支援

⑺　本協会の目的を達成するため必要な事業

２－３　がん検診センター及び細胞診センターの機能

がん検診センター

１　がん征圧運動の実施

⑴　日本対がん協会の北海道支部として、毎年９月のがん征圧月間にがん征圧運動を実施
⑵　がん患者支援チャリティウォーク「リレー・フォー・ライフ」への参加・協力
⑶　国際対がん連合（UICC）運動に参加

２　がんに関する知識の普及

⑴　地域住民を対象とした講演・研修会、及びがん予防学級の企画・実施
⑵　普及啓発資料の作成・配布、及び教育教材の貸し出し
⑶　北海道・市町村と連携した普及啓発事業の実施
⑷　企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体等と連携した普及啓発事業の実施
⑸　がん征圧運動推進のための賛助会員の募集と賛助会員への情報提供

３　検診車による巡回検診の企画実施

検診車派遣の計画・実施
検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、その他の検査）

４　検診センターにおける施設検診の企画実施

⑴　施設検診の計画実施
検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、人間ドック、その他の検査）
⑵　精密検査の実施

５　検診の事後管理（読影・判定・結果通知）

⑴　胃がん検診フィルムの読影（専門読影委員10名により実施）
⑵　肺がん検診フィルムの読影（専門読影委員24名により実施）
⑶　乳がん検診フィルム（SMG）の読影（専門読影委員20名により実施）
⑷　検診結果の通知と要精密検査者への受診勧奨
⑸　一次検診及び精密検査結果の集計・分析
⑹　発見がん患者の管理

６　精度管理に向けた専門職の研鑽（細胞診センター分は次項）

⑴　読影医師、精検医師の技術研修
⑵　診療放射線技師の技術研修
⑶　保健師・看護師のがんに関する専門的技術研修

細胞診センター

1　子宮がん細胞診の実施

(1)　巡回検診における子宮がん検診細胞診
(2)　検診センターにおける子宮がん検診細胞診
(3)　日本母性保護医協会、その他受託子宮がん検診の細胞診
(4)　細胞診標本の保管、管理

2　組織診の実施

(1)　胃がん組織診
(2)　子宮がん組織診
(3)　乳がん組織診
(4)　大腸がん組織診
(5)　受託組織診

3　喀痰細胞診の実施

(1)　巡回検診における喀痰細胞診
(2)　検診センターにおける喀痰細胞診
(3)　受託喀痰細胞診

4　その他諸検査の実施

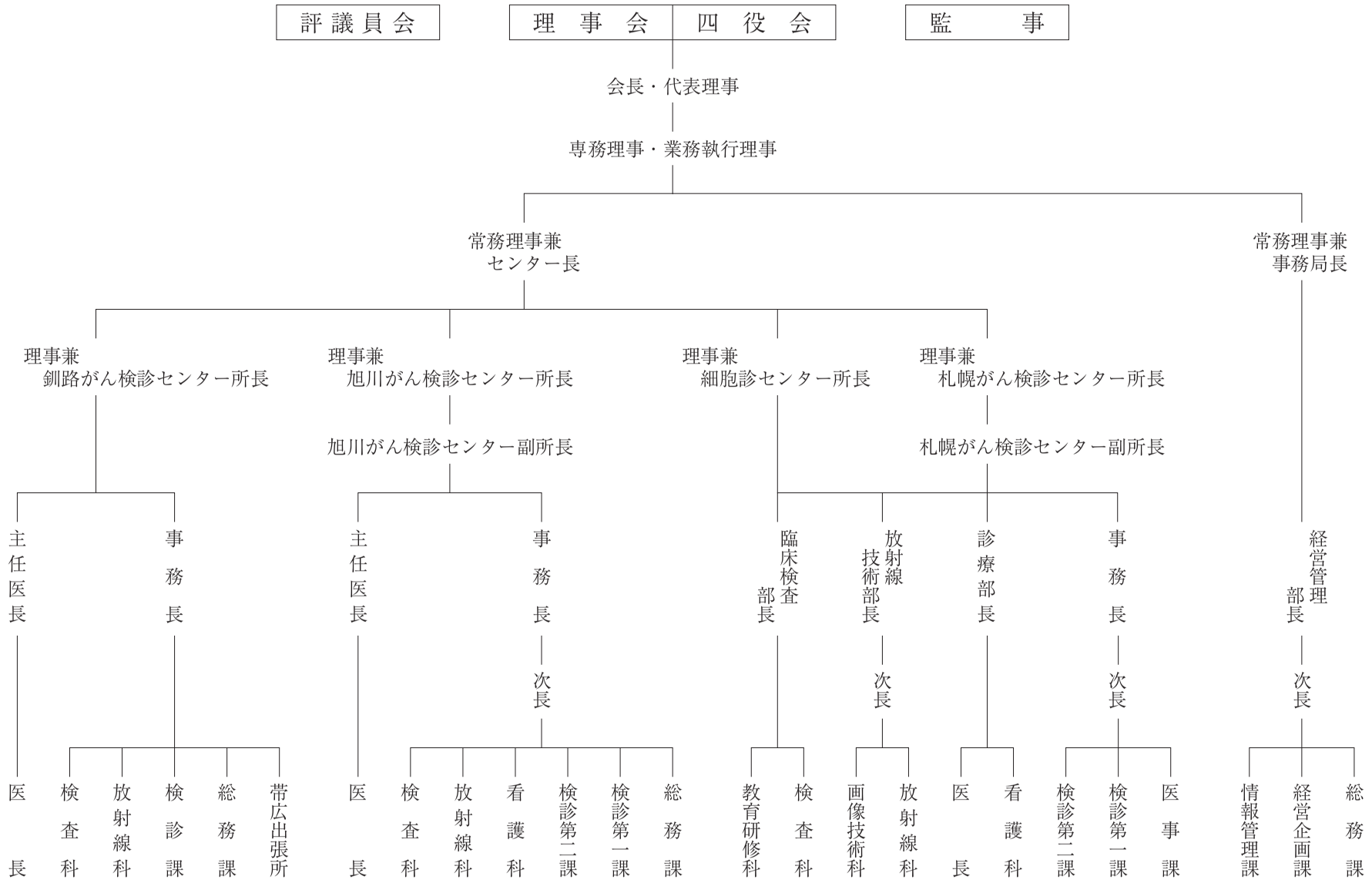
(1)　その他の受託細胞診
(2)　超音波検査
(3)　免疫学的便潜血反応検査
(4)　尿検査
(5)　心電図検査
(6)　眼底検査
(7)　聴力検査
(8)　視力検査
(9)　その他の諸検査

5　細胞検査士の養成研修の実施

6　がん集団検診従事技術者の研修の実施

２－４　公益財団法人 北海道対がん協会 機構図

平成27年７月１日現在



２－５　役員等名簿

平成27年７月１日現在

名誉会長	菊地浩吉	北海道対がん協会前会長 札幌医科大学名誉教授
会長	長瀬清	北海道医師会会長
副会長	加藤紘之	国家公務員共済組合連合会斗南病院顧問
〃	久保良彦	森山病院名誉院長
〃	佐藤昇志	新札幌豊和会病院理事・先端医療センター長
〃	石子彭培	北海道国民健康保険団体連合会理事長
専務理事	白川賢一	北海道対がん協会専務理事
常務理事	手林明雄	北海道対がん協会センター長
理事	秋田弘俊	北海道大学大学院医学研究科腫瘍内科学分野教授
〃	磯部宏	KKR札幌医療センター副院長
〃	近藤啓史	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター院長
〃	櫻木範明	北海道大学大学院医学研究科産婦人科分野教授
〃	加藤淳二	札幌医科大学腫瘍・血液内科学講座教授
〃	平田公一	JR札幌病院顧問
〃	矢上尚寿	北海道対がん協会前専務理事
〃	相澤信之	北海道対がん協会事務局長
〃	藤田博正	北海道対がん協会細胞診センター所長
〃	松浦邦彦	北海道対がん協会釧路がん検診センター所長
〃	山口由美子	北海道対がん協会札幌がん検診センター所長
〃	菅野普子	北海道対がん協会旭川がん検診センター所長
監事	秋山孝二	公益財団法人秋山記念生命科学振興財団理事長
〃	佐竹啓一	税理士

参与	澤口　敏明	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課 がん対策等担当課長
〃	川上　敏正	札幌市保健福祉局保健所健康企画担当部長
〃	野崎　幸宏	旭川市福祉保険部長
〃	岡部　義孝	釧路市こども保健部長
評議員	佐野　文男	札幌社会保険総合病院名誉院長・顧問
〃	齋藤　芳子	北海道健康をまもる地域団体連合会会長
〃	傳法　公麿	藤女子大学名誉教授
〃	東洋　彰宏	北海道薬剤師会会長
〃	福田　守道	札幌医科大学名誉教授
〃	三宅　浩次	独立行政法人労働者健康福祉機構 北海道産業保健推進センター所長
〃	谷本　辰美	北海道町村会常務理事

２－６　公益財団法人北海道対がん協会の沿革概要

昭　和　４　年　癌の原因、早期診断及び治療の研究を行うと同時に最善の治療を実施し、且つ公衆に癌の知識を普及するため、昭和４年９月13日**財団法人北海道対癌協会を創立**する。事務所は北海道帝国大学比較病理学教室に置く。

昭　和　２１　年　がん以外の循環器系疾患の予防事業を加え名称を改め財団法人北海道保生協会とする。

昭　和　３４　年　日本対ガン協会の設立（昭和33年）との関連およびがん死亡数の急激な増加に対処し「がん」対策の飛躍的推進を図るため、設立当初の本旨にもどり**財団法人北海道対がん協会に名称を復元**するとともに事務所を北海道衛生部に移す。

昭　和　３７　年　日本対ガン協会北海道支部を兼ねる。

昭　和　３８　年　日本対ガン協会より胃検診車の配置を受け**胃集団検診を開始**する。
同時に専任職員を置き事務所を独立する。

昭　和　４１　年　子宮がん検診車による**婦人科検診を開始**する。

昭　和　４４　年　北海道全域におよぶ対がん活動の拠点として**検診センターを建設**する。
同時に施設及び人員を充実し検診事業を拡大強化する。

昭　和　４６　年　日本対ガン協会と本協会の主催で**がん征圧全国大会**を札幌市民会館で開催する。

昭　和　４８　年　集団検診数の増加にともない**検診センターを増改築**し機能の強化をはかる。
乳房検診用Ｘ線装置を整備し**乳房検診事業を開始**する。

昭　和　５１　年　肺がん検診用Ｘ線撮影装置を整備し主としてハイリスクグループを対象に肺がん検診を開始する。

昭　和　５２　年　消化管検診用Ｘ線撮影装置を新設し**腸管検診を開始**する。

昭　和　５３　年　「広域積雪寒冷の悪条件下におけるがん対策に創意工夫をこらし、みるべき成果を挙げた」として**保健文化賞及び厚生大臣表彰を受賞**する。
乳がん検診車「すずらん号」を整備し活動を開始する。

昭　和　５４　年　「がんの予防及び治療の普及啓発に努力を重ね、本道の発展に偉大な業績を挙げた」として**北海道開発功労賞を受賞**する。
本会**創立50周年**記念式典及び記念行事を実施する。

昭　和　５６　年　道北・道東北の拠点となる**旭川がん検診センターが業務を開始**する。
旭川市において**東日本ガン対策連絡協議会を開催**する。

昭　和　５７　年　検診センター内に**細胞診センターを併設**する。

昭　和　５８　年　札幌市と対がん協会との**がん対策連絡会が発足**する。

昭　和　５９　年　胃がん検診数の増加にともないデータ処理の迅速正確性をはかるため**コンピューターを導入**する。

昭　和　６０　年　道東南の拠点となる**釧路がん検診センターが業務を開始**する。

昭　和　６１　年　わが国で、最初の対癌協会として昭和４年創立以来、半世紀にわたる歴史を刻んだ**「北海道対がん協会50年史」**を発行する。
検診車による肺がん集団検診を開始する。

昭　和　６２　年　**大腸がん検診を開始**する。

平　成　元　年　**本会創立60周年**記念式典及び記念行事を実施する。

平　成　２　年　釧路がん検診センター**５周年記念行事を実施**する。
がん征圧全国大会が北海道厚生年金会館で開催され、全国から3,000余名が参加する。

平　成　３　年　旭川がん検診センター**10周年記念行事を実施**する。
北海道の委託を受けて**がん登録評価事業**を開始する。

平　成　４　年　旭川がん検診センター待合室、婦人科診療室などの**増改築**をする。
がん予防学級開講20周年を記念し講演会を開催する。

平　成　５　年　昭和38年11月に検診車による**胃がん検診を開始して30年**「しらかば記念号」を発行する。

平　成　６　年　**「がん電話相談」**を開設して10年。相談件数は延べ4,964人に達した。

平　成　７　年　釧路がん検診センター**10周年記念行事を実施**する。

平　成　８　年	「集団検診などによるがん早期発見・治療への成果と予防知識の普及」活動に対し、道新文化賞第50回記念賞を受賞する。
平　成　１０　年	札幌がん検診センターを東区に移転新築し、業務を開始する。
平　成　１１　年	本会創立70周年記念式典及び記念行事を実施する。
平　成　１３　年	旭川がん検診センター20周年記念行事を実施する。
平　成　１９　年	道内初のヘリカルＣＴ肺がん検診車を導入する。 個人情報保護法の施行に伴い施設プライバシーマークを取得する。
平　成　２１　年	本会創立80周年を迎え、第42回がん予防道民大会を80周年記念大会として音更町で開催。 沿革と事業をまとめた創立80周年記念誌を発刊した。
平　成　２３　年	旭川がん検診センター30周年記念行事及びがん予防学級開校30周年記念講演会を実施する。 道内初の最新式フラットパネルデジタルマンモグラフィ車を導入する。
平　成　２４　年	公益法人制度改革に基づく公益財団法人として北海道知事から認定を受け、名称を「公益財団法人北海道対がん協会」へと変更する。
平　成　２５　年	９月13日、さっぽろ芸術文化の館（ニトリ文化ホール）にて「2013年度がん征圧全国大会」を開催し、大会史上最多の約2,000名の参加を得て、盛会裡に終了した。
平　成　２６　年	２月９日、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした「がん対策基金」を設立。当協会が事務局を担う。

3　個人情報保護方針

これからの情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。北海道対がん協会は、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下の通り定め、役員、職員及び関係スタッフに周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1．個人情報の取得・利用・提供

検（健）診の内容と規模を考慮して、個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の取得、利用及び提供に関する内部規程を定め、これを遵守します。

2．個人情報の安全対策と教育

当会は、個人情報の重要性について、職員に対する教育啓発活動を実施するほか、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3．個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する日本の法令及びその他の規範を遵守します。

4．継続的改善

当会は、以上の活動を実施するに当たり、個人情報保護を適切に維持するための規程を策定・運用し、運用状況について監査し、これを継続的に見直し改善してゆきます。

5．個人情報に関するお問い合わせ

個人情報に関するお問い合わせは、下記の相談窓口にてお受けいたします。

公益財団法人 北海道対がん協会
個人情報保護相談窓口（総務課長）
電話011-748-5511（平日午前９時～午後５時）
E-mail　office@hokkaido-taigan.jp

平成17年５月１日 制定
平成25年４月１日 改訂

公益財団法人 北海道対がん協会
会　長 長瀬　清

4　検診センターにおける各種検診日

札幌がん検診センター

（第２･第４･第５土曜日休診）（日･祝日休み）

	がん検診（一次検診）					その他の検診
	胃	子宮	乳	肺	大腸	
検診日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	・胸部CT検査 ・前立腺がん検診 ・各がん検診の二次検診 ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定 ・内臓脂肪CT検査 ・腹部超音波検査
受付時間	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～15:00	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～14:00	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～14:00	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～15:00	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～15:00	

札幌がん検診センター　〒065-0026
札幌市東区北26条東14丁目１番15号
電話（予約）(011) ７４８－５５２２

旭川がん検診センター

（第２･第４･第５土曜日休診）（日･祝日休み）

	がん検診（一次検診）					その他の検診
	胃	子宮	乳	肺	大腸	
検診日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	・胸部肺CT検査 ・前立腺がん検診 ・各がん検診の二次検診 ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定
受付時間	8:30～11:00	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～14:00	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～14:00	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～15:00	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～15:00	

旭川がん検診センター　〒071-8122
旭川市末広東２条６丁目６番10号
電話（代）(0166) ５３－７１１１
予約専用フリーダイヤル 0120-972-489

釧路がん検診センター

（第２･第４･第５土曜日休診）（日･祝日休み）

	がん検診（一次検診）					その他の検診
	胃	子宮	乳	肺	大腸	
検診日	毎日	月・水・木	月・水・木	毎日	毎日	・前立腺がん検診 ・各がん検診の二次検診 ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定
受付時間	9:00～11:00	月 9:00～10:00 水・木 9:00～13:00	月・水・木 9:00～13:00	月～土 9:00～11:00 月～金 13:00～16:00	月～金 9:00～16:00 土 9:00～11:00	

釧路がん検診センター　〒085-0058
釧路市愛国東２丁目３番１号
電話（代）(0154) ３７－３３７０

※受診の際は、ご希望の日時と科目を、お電話でご予約下さい。

5　がん対策基金のご案内

北海道がん対策基金を設立しました！

～がんに負けない社会の実現を目指して～

「がん」は、本道においても死因の第1位を占め、道民の生命や健康への脅威であり、がんの克服は多くの道民の願いでもあります。

北海道では、「がんになっても安心して暮らせる社会づくり」を目標に、全ての道民が一体となってがん患者やその家族の方々を社会全体で支える仕組みとして、平成27年2月、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした基金を設立いたしました。

今後、本基金をもとに、皆様とともに「がんに負けない社会」の実現を目指して様々な取組みを進めてまいりますので、継続的なご支援・ご協力をお願い申し上げます。

募金の方法　みなさまの募金を心よりお待ちしております。

- ○口座への振り込みによる募金
- ○協賛商品の購入による募金
- ○イベント会場での募金
- ○直接寄付・募金

※この募金は法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。

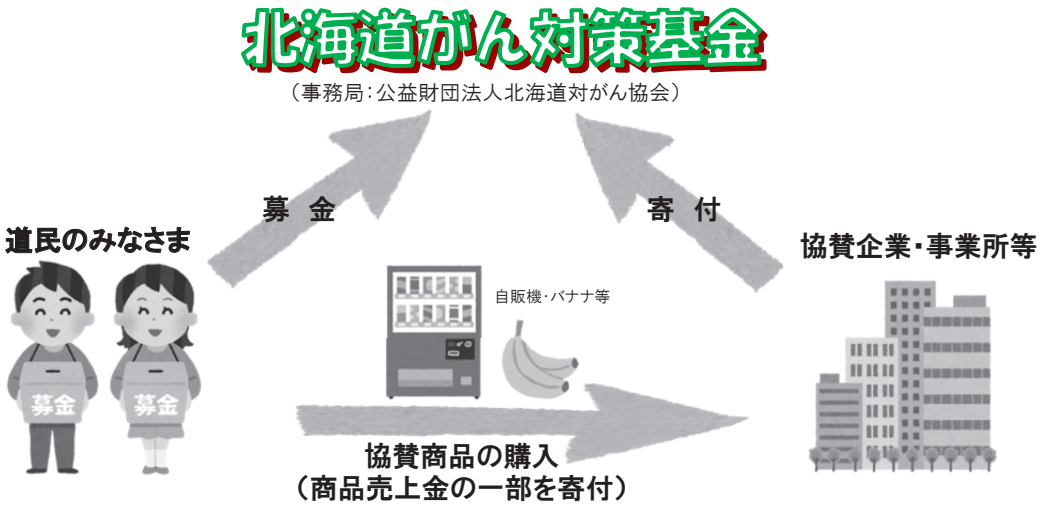
振込口座　次の銀行口座で受け付けております。

北洋銀行　札幌南支店
（口座番号）普通　4591650
（口座名）北海道がん対策基金
※本・支店に備え付けの振り込み用紙により窓口で振り込んだ場合、振り込み手数料が無料になります。

北海道銀行　札幌駅前支店
（口座番号）普通1877125
（口座名）北海道がん対策基金
※本・支店に設置の現金自動預け払い機（ATM）で振り込んだ場合、振り込み手数料が無料になります。

ゆうちょ銀行
（口座番号）02740-9-102016
（口座名）北海道がん対策基金

基金のしくみ



北海道がん対策基金に寄せられた善意は、こんな事業に役立てられます

◎がん患者・家族への支援

患者やご家族の方々の身体的、経済的な負担を軽減するための療養生活や　就労の相談のほか、ピアサポーターの派遣等に活用

※ピアサポーターとは…がん患者や家族を仲間（ピア）として支援するがん患者

◎小児がん患者・がん教育への支援

小児がんの子供への学習支援や家族との交流、幼少期からのがんの知識を深めるためのがん専門医を学校に派遣するがん教育等に活用

◎情報提供・普及啓発

がんの知識や理解を深めるための様々なイベントの開催や啓発素材の作成、地域の療養施設の情報提供等に活用

◎がん検診の受診促進、予防対策

がんになるリスクを減らすため、日頃の生活習慣の改善やがん検診受診の必要性を理解していただくためのイベントの開催や広報活動等に活用

お問い合わせ

○（事務局）公益財団法人北海道対がん協会　Tel（011）-748-5511
○北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策・健康づくりグループ　Tel（011）-204-5117

ホームページ

○北海道対がん協会　：　http://hokkaido-taigan.jp
○北海道　　：　http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/gan_fund_toppage.htm

6　がん征圧賛助会へのご入会案内

北海道対がん協会は、昭和４年、全国で最初に創立された対がん組織です。その使命には、がんに関する正しい知識の普及と早期発見のための検診事業の推進、がんの研究等があります。

現在、当協会が行っている検診から発見されるがんは、８割以上が治し得るがんです。そのことから、がん検診事業は多くの人命を救う事業と言えます。

北海道においても、がんは年々増え続け、今や２人に１人ががんにかかり、３人に１人ががんで亡くなる時代となりました。

当協会では、がん征圧運動を広げるため賛助会制度を設けております。

ご入会いただいた会員の皆様から寄せられる会費は、がんの正しい知識を知ってもらうための教材を作成することに使用するほか、がん検診機器の整備、がん研究の援助などに使わせていただきます。

対がん事業の拡大強化のため、皆様のあたたかいご支援をお願い申し上げます。

１．賛助会員（継続して会費を納めて頂き、支援してくださる方）

個人会員　会費は年１口　　１,０００円
（３口以上で税控除対象）

法人会員　会費は年１口　１０,０００円
（口数に制限はありません）

２．特別会員（寄付金を寄せられた方）

金額の多少にかかわらず、お受けしております。多くは香典返しに替えての寄付ですが、快気祝、還暦、古希など個人のお祝いや、チャリティイベントにちなんだ寄付などが寄せられております。

※賛助会費は法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。寄付金の税控除の手続きには領収書のみで対応できるようになりました。

３．ご入会後は

がん征圧賛助会員として登録し、パンフレットや機関誌（年３回発刊）等、がんに関する印刷物を作成毎にお送りします。

４．お申し込み・お問い合せは最寄りのがん検診センターへ

公益財団法人北海道対がん協会　札幌がん検診センター　011－748－5511
〃　旭川がん検診センター　0166－53－7111
〃　釧路がん検診センター　0154－37－3370

日本人のためのがん予防法

－現状において日本人に推奨できる科学的根拠に基づくがん予防法－

喫　煙	たばこを吸わない。他人のたばこの煙をできるだけ避ける。
飲　酒	飲むなら、節度ある飲酒をする。
食　事	食事は偏らずバランスよくとる。 ＊塩蔵食品、食塩の摂取は最小限にする。 ＊野菜や果物不足にならない。 ＊飲食物を熱い状態でとらない。
身体活動	日常生活を活動的に。
体　形	適正な範囲に。
感　染	肝炎ウイルス感染検査と適切な措置を。

国立がん研究センターがん対策情報センター
「日本人のためのがん予防法」より抜粋